Panasonic

取扱説明書

PCソフトウェアパッケージ

品番 DG-ASM20

本書では、品番の一部を省略している場合があります。

はじめに

商品概要

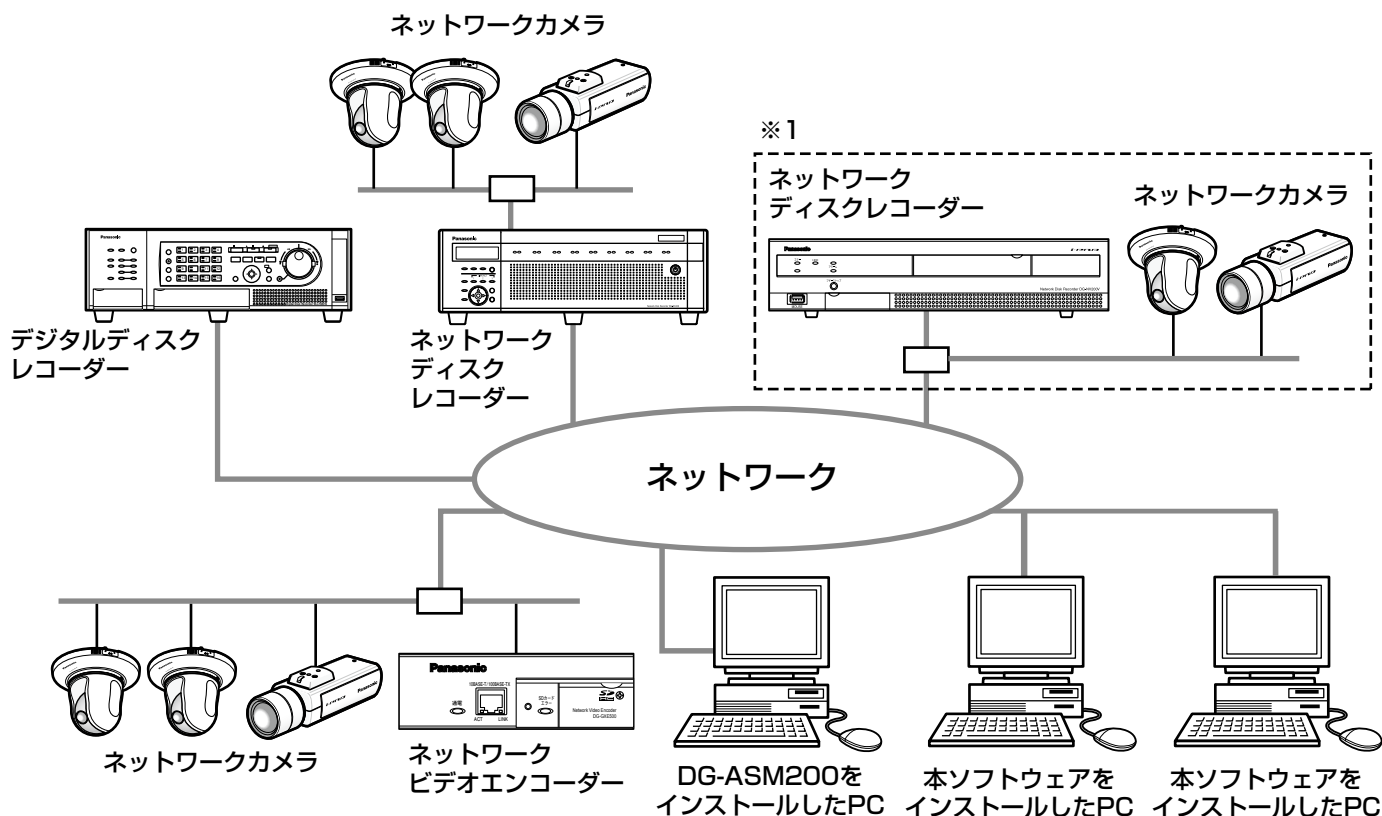
PCソフトウェアパッケージDG-ASM20（以下、本ソフトウェア）はLAN（Local Area Network：以下、ネットワーク）に接続された、複数台（各機器の登録数については「商品仕様」（☞3ページ）をお読みください。）のパナソニック製ネットワークディスクレコーダー、デジタルディスクレコーダー（以下、レコーダー）および、ネットワークインターフェースユニット（以下、エンコーダー）、ネットワークカメラ（以下、カメラ）の画像をMicrosoft® Windows® 上で表示するソフトウェアです。対応機器については、「対応機器一覧」（☞4ページ）をお読みください。

本ソフトウェアを使用することにより、カメラのライブ画像を遠隔のパーソナルコンピューター（以下、PC）のモニターにライブ表示したり、シーケンス表示したりすることができます。

ソフトウェアの構成

本ソフトウェアは、次の3種類のソフトウェアで構成されます。

設定ソフトウェア　　　：運用ソフトウェアを使用するための設定および設定データの管理を行います。
運用ソフトウェア　　　：ライブ画像の表示を行います。
（ライブ画像はグループ表示とシーケンス表示のどちらかで表示されます。）
サービスソフトウェア　：操作ログの自動削除を行います。
PC起動時に起動し、常駐プログラムとして動作します。

システム構成図

※1　点線で囲まれた構成にすると、レコーダーに接続されているカメラの画像を、レコーダーを経由せずに直接見ることができます。その場合、以下の項目を確認・設定してください。
- ●レコーダーにカメラを登録する。
- ●レコーダーは1ポートで運用する。

重要
- ●PCと各機器はクロスケーブルで接続しないでください。

商品仕様

- ●レコーダー登録数　：最大100台
- ●エンコーダー登録数　：最大64台
- ●カメラ登録数　：最大256台
- ●グループ登録数　：最大400グループ
- ●シーケンス登録数　：最大10件（シーケンス1件につき最大64ステップ登録可能）
- ●ネットワーク障害ログ登録件数（表示件数）：最大1000件（最大1000件）
- ●システムログ登録件数（表示件数）　：最大1000件（最大1000件）
- ●操作ログ登録件数（表示件数）　：最大100000件（最大1000件）

メモ
- ●1台のレコーダーに接続可能なPCの台数は、接続機器の種類によって異なります。

ND300	6台
ND200	4台
HD300※2	3台※1
ND400	16台
HD600	8台
NV200	1台

※1　16画表示を行う場合は接続可能なPCの台数は2台になります。
※2　以下の条件でレコーダーとの接続が切れ、黒画が表示される場合があります。
- ●イベント録画＋シーケンス運用の場合
- ●1台あたりのHD300に対する全体ライブレートが15 ips以上の場合（☞24ページ）

- ●ウェブブラウザーによるアクセスやFTP接続によりユーザー数が超過すると、レコーダーとの接続が切れ、黒画が表示される場合があります。

対応機器一覧

本ソフトウェアは以下の機器に対応しています。

重要

- 対応機器のバージョンによっては一部機能が動作しないものがあります。詳しくは、パナソニックサポートウェブサイト（http://panasonic.biz/security/support/index.html）を参照してください。

メモ

- レコーダーに接続できるカメラに関しては、お使いのレコーダーの取扱説明書をお読みください。

対応レコーダー

品名	本書での表記	バージョン	圧縮方式
WJ-ND300 DG-ND300A	ND300	5.20以上	MPEG-4 M-JPEG H.264
DG-ND200	ND200	3.30以上	MPEG-4 M-JPEG H.264
WJ-HD350 WJ-HD309	HD300	3.44以上	独自方式
DG-ND400	ND400	2.20以上	MPEG-4 M-JPEG H.264
WJ-HD616 WJ-HD716	HD600	2.06以上	H.264
DG-NV200	NV200	1.04以上	MPEG-4 M-JPEG H.264

対応エンコーダー

品名	本書での表記	バージョン	圧縮方式
DG-NT304	NT304	1.32以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-NT314	NT314	1.32以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-GXE500	GXE500	1.30以上	H.264 MPEG-4 M-JPEG
DG-GXE100	GXE100	1.72以上	H.264 M-JPEG

対応カメラ

CD-ROM内のReadmeをお読みください。

設定ソフトウェアについて

設定ソフトウェアは、管理者および設定の確認が可能な登録ユーザーでログインできます。ただし、設定は管理者のみ行えます。
また、設定ソフトウェアと運用ソフトウェアは同時に起動することはできません。
設定ソフトウェアでは以下の設定を行います。

システム
本ソフトウェアの基本的な動作に関する設定を行います。
詳しくは、「システムに関する設定」（☞23ページ）をお読みください。

機器管理
ライブ画像を表示したり、レコーダーの録画画像を再生したりするために、レコーダー情報やエンコーダーの情報、カメラの情報に関する設定を行います。
詳しくは、「機器管理に関する設定」（☞26ページ）をお読みください。

管理者設定
管理者に関する設定を行います。
詳しくは、「管理者に関する設定」（☞50ページ）をお読みください。

カメラ
カメラのグループやシーケンスに関する設定を行います。
詳しくは、「カメラに関する設定」（☞51ページ）をお読みください。

モニター
ライブモニターやマップモニターに関する設定を行います。
詳しくは、「モニターに関する設定」（☞58ページ）をお読みください。

通信
通信に関する設定を行います。
詳しくは、「通信に関する設定」（☞60ページ）をお読みください。

メンテナンス
本ソフトウェアのバージョン情報、ログに関する設定および設定した情報の管理を行います。
詳しくは、「メンテナンスに関する設定」（☞61ページ）をお読みください。

外部Ｉ／Ｆ
外部インターフェースに関する設定を行います。
詳しくは「外部インターフェースに関する設定」（☞72ページ）をお読みください。

ライセンス登録
本ソフトウェアのご使用、及び拡張オプションを追加する際のライセンス登録を行います。
詳しくは、「ライセンス登録に関する設定」（☞81ページ）をお読みください。

付属品をご確認ください

CD-ROM 1枚
インストールガイド 1冊
起動情報案内カード 1枚

重要
- CD-ROMには、本ソフトウェアのインストールプログラムと取扱説明書、Readme.txtファイルが収められています。インストールする前に、Readmeを必ずお読みください。
- 本ソフトウェアを使用するにはライセンスの登録が必要です。本ソフトウェアを使用するPCにインストールした後、ライセンス登録を行ってください。

取扱説明書について

本書は設定ソフトウェアをインストールする方法と、運用を開始する前に必要な機能の設定方法、および機能ごとの操作方法について説明しています。
ネットワークに関する設定は、接続する社内LANやサービスプロバイダーの設定により異なる場合があります。ネットワークに関する設定について詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
本書ではMicrosoft® Windows® 7 Professionalをご使用の場合を例に説明しています。
ほかのOSをご使用の場合やOSの設定によっては、画面表示が異なる場合があります。
その他のOSをご使用の場合、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

必要なPCの環境

重要　PCを用意される際にご注意ください。
- 使用するPCのユーザーアカウントに2バイト文字（全角文字）が使用されていると、本ソフトウェアのインストール時に必要なファイルがインストールされず、正常に運用できません。ユーザーアカウントは必ず半角英数字を使用してください。

本ソフトウェアは以下のシステム環境を持つPCにインストールできます。

OS※1	Microsoft® Windows® 8 Pro 32ビット日本語版※2 Microsoft® Windows® 8 Pro 64ビット日本語版※2 ※3 Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32ビット日本語版※2 Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 64ビット日本語版※2 ※3 Microsoft® Windows Vista® Business SP2 32ビット日本語版※2 Microsoft® Windows Vista® Business SP2 64ビット日本語版※2 ※3
コンピューター	IBM PC ／ AT互換機
CPU	Intel® Core™ i5-2400、2500 Intel® Core™ i7-860以上
メモリー	3 GB以上

グラフィックアクセラレーター	VRAM512 MB以上（最低256 MB以上）でDirectX® 9.0c以上の機能を持つもの
CD-ROMドライブ	本ソフトウェアのインストール時に必要
ハードディスク容量	3 GB程度必要※4
画面	1280x800ピクセル以上の解像度（ライブモニターは1920x1080ピクセルの解像度を推奨）、True color 24ビット以上（フルカラー環境を推奨）
インターフェース	100 ／ 1000 Mbpsのネットワークインターフェースカードが内蔵されていること※5

※1：本ソフトウェアは、Microsoft® Windows Vista®、Microsoft® Windows® 7、Microsoft® Windows® 8のデフォルトのスタイルおよびフォントサイズでデザインされています。スタイルまたはフォントサイズを変更する場合は、十分ご注意ください。

※2：Microsoft® Windows Vista®、Microsoft® Windows® 7、Microsoft® Windows® 8で使用する場合に必要なPC環境や、注意事項など詳しくは、Readme.txtをお読みください。

※3：WOW64（32ビット互換モード）で動作します。

※4：本ソフトウェアを使用するためには、Windows Vista、Windows 7の場合は、Microsoft® SQL Server 2005 Express Edition SP4、Windows 8の場合は、Microsoft® SQL Server® 2012 Service Pack 1(SP1) Expressをインストールする必要があります。また、アプリケーションのインストールとは別に、レコーダーからダウンロードした画像の保存先、データベースの保存先として使用するためのハードディスク容量を用意する必要があります。

※5：PCのネットワーク設定は、お客様のネットワーク環境にあわせて設定していただく必要があります。また、複数のネットワークインターフェースカードを用いて本ソフトウェアを使用した場合の動作は保証いたしません。

重要

- 本ソフトウェアのインストールは、「コンピューターの管理者」権限のあるユーザーが行ってください。管理者以外のユーザーがインストールした場合の動作は保証いたしません。
- 本ソフトウェアでは、データベースに、Windows Vista、Windows 7の場合は、Microsoft® SQL Server 2005 Express Edition SP4、Windows 8の場合は、Microsoft® SQL Server® 2012 Service Pack 1(SP1) Expressを使用しています。それ以外のデータベースをインストールするとデータベースが壊れて、正常に動作しないことがあります。
- リモートデスクトップ上での動作は保障いたしません。
- 本ソフトウェアの起動中はPCのログオフおよびシャットダウンを行わないようにしてください。動作が不安定になる場合があります。
- 複数のアプリケーションと同時に本ソフトウェアを動作させた場合、CPUやメモリーなどの資源不足により、動作が不安定になる場合があります。負荷の高いアプリケーションと同時に使用しないでください。
- サウンドカードがないと、アラーム発生時および障害発生時に音が鳴りません。また、送受話が正常に動作しません。
- Microsoft® Windows® 7におけるWindowsXPモードには対応していません。

MPEG-4およびH.264画像使用時の推奨カメラ設定

カメラの1クライアントあたりのビットレート設定は、お使いのPCのCPUの性能に応じて以下のように設定してください。定められたビットレート以上を設定しますと、マウスカーソルが砂時計のまま操作できなくなるなど本ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。その場合は、お手数ですが本ソフトウェアを強制終了後、適切なビットレートに設定してください。

■MPEG-4画像使用時（VGA）

CPU	推奨ビットレート
Intel® Core™ i5-2400	2048 kbps（30 fps）

※カメラの画質設定は「標準」です。

■H.264画像使用時（VGA）

CPU	推奨ビットレート
Intel® Core™ i5-2400	1536 kbps（30 fps）

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、DirectXは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Pentium、Intel Coreは米国およびその他の国におけるIntel Corporation の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、およびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他国における商標または登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows Vista® Business SP2 32ビット日本語版、Microsoft® Windows Vista® Business SP2 64ビット日本語版をWindows Vistaと表記しています。
- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 64ビット 日本語版をWindows 7と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8 Pro 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 8 Pro 64ビット日本語版をWindows 8と表記しています。

用語について

本書では、以下の用語を用いて説明しています。

管理者
本ソフトウェアの管理／運用に関する責任および権限を持った人のことです。

ユーザー
本ソフトウェアを操作する人のことです。管理者と登録ユーザーが存在します。本ソフトウェアの設定やメンテナンスは、管理者のみ可能です。

レコーダー
パナソニック製ネットワークディスクレコーダー、デジタルディスクレコーダーのことです。対応機器については、「対応機器一覧」（☞4ページ）をお読みください。

エンコーダー
パナソニック製ネットワークインターフェースユニットのことです。対応機器については､｢対応機器一覧｣(☞4ページ）をお読みください。

固定カメラ
パン・チルト機能を持たないカメラです。

PTZカメラ
パン・チルト・ズーム機能を持つカメラです。

全方位カメラ
パナソニック製全方位ネットワークカメラのことです。

ライブ画像
カメラの現在の画像です。

カメラ直接受信
ネットワークディスクレコーダーに登録されているカメラのライブ画像をレコーダーを経由せずに、カメラから直接受信することです。

グループ表示
カメラの画像を1つのグループに登録し、登録したグループ単位で画像を表示することです。

シーケンス
カメラの画像を決められた順番でグループ単位で自動的に切り換えて表示することです。本ソフトウェアでは、ライブ画像を表示するときにシーケンスを行うことができます。

アプリケーションログ
ネットワーク障害情報、本ソフトウェアのシステム情報などの記録です。アプリケーションログには以下の種類があります。
　ネットワーク障害ログ、システムログ、操作ログ

M-JPEG
カメラから連続的にJPEG画像を送信してくる動画方式です。カメラ側から画像を1枚1枚取得する方式に比べ、ネットワークの負荷は下がりますが、カメラ側の状態により配信レートは変動します。カメラによってはJPEGと表現される場合があります。

設定ソフトウェア
運用ソフトウェアを使用するために必要な設定を行うアプリケーションです。

運用ソフトウェア
接続しているレコーダー、エンコーダー、カメラのライブ画像の表示を行うアプリケーションです。

ライブモニター
運用ソフトウェアの画面のことです。

ライセンス
本ソフトウェアをご使用するうえで必ず登録が必要となります。別冊の「起動情報案内カード」をお読みいただき、解除キー番号を入手、登録してください。入手した解除キー番号は本ソフトウェアをインストールしたPCでのみ有効です。

デモ版
デモ用のライセンスを登録することで、90日間該当ソフトウェアのすべての機能がご使用いただけます。

MPEG-4およびH.264画像使用時の制約事項

本ソフトウェアで、MPEG-4およびH.264画像を使用する場合、各機能において以下のような制約事項があります。
内容をご確認の上、ご使用ください。

ライブ画像表示機能

● MPEG-4およびH.264画像で以下のライブ画像表示操作を行うと、最初の数秒間（※）だけ黒画表示されることがあります。
  • MPEG-4およびH.264画像のカメラのライブ画像を表示させようとしたとき。（カメラ切り換えなど）
  例）カメラ側のリフレッシュ周期が3秒の設定の場合、3秒間隔で画像が更新されます。
● 16画でSXVGAの画像を表示した場合はリフレッシュ周期の間隔（※）で表示されます。（表示してから数秒間はすべての画像が表示されます。）

重要

● 上記（※）で、数秒の時間および時間間隔は、カメラ側のリフレッシュ周期設定によります。
（設定範囲：カメラの品番によって異なります。）
時間差を短くしたい場合は、カメラ側のリフレッシュ周期を短い時間に設定してください。
リフレッシュ周期の設定方法は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

もくじ

はじめに

準備

設定

設定

その他

その他

運用までの流れ

本ソフトウェアを運用するまでの流れは以下のとおりです。

1 **本ソフトウェアのインストール**

本ソフトウェアをインストールします。
「インストールする」（☞16ページ）をお読みください。

2 **設定ソフトウェアの起動**

設定ソフトウェアを起動します。
「設定ソフトウェアの起動と終了」（☞20ページ）をお読みください。

3 **ライセンス(解除キー番号)を取得する ☞起動情報案内カード**

付属の起動情報案内カードに記載されている方法に従って、解除キー番号を取得してください。

4 **ライセンス(解除キー番号)を登録する**

本ソフトウェアの解除キー番号を登録します。
「設定ソフトウェアの起動と終了」STEP2 〜 STEP5（☞20ページ）をお読みください。

重要

- 必ず使用するPC上で登録を行ってください。デモ版(90日間)を使用するにはデモ版の解除キー登録が必要です。デモ版の解除キー番号については付属CD-ROM内のReadme.txtをお読みください。

5

- **システムに関する設定（☞23ページ）**
- **機器管理に関する設定（☞26ページ）**
- **管理者に関する設定（☞50ページ）**
- **カメラに関する設定（☞51ページ）**
- **モニターに関する設定（☞58ページ）**
- **通信に関する設定（☞60ページ）**
- **メンテナンスに関する設定（☞61ページ）**
- **外部インターフェースに関する設定（☞72ページ）**

メモ

- 各種ボタンをクリックすると、メッセージが表示される場合があります。「表示メッセージと対処方法」（☞87ページ）をお読みになり、正しい操作を行ってください。

6 **設定ソフトウェアの終了**

設定ソフトウェアを終了します。
「設定ソフトウェアの起動と終了」（☞20ページ）をお読みください。

運用開始

運用ソフトウェアを起動し、操作を開始します。

インストール／アンインストール

インストールする

本ソフトウェアをインストールします。

重要

- 本ソフトウェアをインストールする場合は、必ずWV-AS65、DG-ASM100シリーズ、DG-ASM10、DG-ASM200をアンインストールしてください。WV-AS65またはDG-ASM100シリーズまたはDG-ASM10またはDG-ASM200と本ソフトウェアが両方インストールされた状態での動作は保証していません。
- 本ソフトウェアを再インストールする場合は、必ずアンインストールしてください。上書きインストールは動作不安定の原因となります。なお、本ソフトウェアをアンインストールすると、設定データが削除されます。必要な場合は、アンインストールする前に必ず設定データをセーブしてください。

STEP1

付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットします。

STEP2

「1 SQLServer」フォルダー内の「SQLServerSetup.exe」をダブルクリックします。

→Windows Vista、Windows 7の場合は、Microsoft® SQL Server 2005 Express Edition SP4、Windows 8の場合は、Microsoft® SQL Server® 2012 Service Pack 1(SP1) Expressのインストーラーが起動します。画面の指示にしたがってインストールしてください。

STEP3

「2 ディスクレコーダー管理ソフトウェア」フォルダー内の「setup.exe」をダブルクリックします。

→ディスクレコーダー管理ソフトウェアのインストーラーが起動します。画面の指示にしたがってインストールしてください。標準設定のままインストールすると、「C: ¥Program Files ¥Panasonic ¥ASM200」フォルダーが作成され、実行ファイルなどがコピーされます。

STEP4

ファイアウォールの例外設定をします。詳しくは「ファイアウォールの例外設定」(☞83ページ) をお読みください。

STEP5

PCを再起動します。STEP1からSTEP4まで行ったら、最後にPCを再起動してください。

重要

- 運用ソフトウェアを起動する前に、設定ソフトウェアでユーザーの登録、機器の登録など、運用ソフトウェアの操作に必要な情報を設定してください。

アンインストールする

重要

- 本ソフトウェアをアンインストールすると、設定データが削除されます。必要な場合は、アンインストールする前に必ず設定データをセーブしてください。設定データをセーブする方法については、「セーブする（保存）」（☞68ページ）をお読みください。
- 本ソフトウェアをアンインストールしてもレコーダーから取得したファイルは削除されません。
- 本ソフトウェアをアンインストールしても、Windows Vista、Windows 7の場合は、Microsoft® SQL Server 2005 Express Edition SP4、Windows 8の場合は、Microsoft® SQL Server® 2012 Service Pack 1(SP1) Expressはアンインストールされません。必要な場合は本ソフトウェアをアンインストール後に、アンインストールしてください。
- 本ソフトウェアをアンインストールする際、アプリケーションの終了を求める画面が表示されましたら［キャンセル］ボタンをクリックしてインストールを中止し、該当するサービスを停止してから再度アンインストールを行ってください。サービスの停止方法については、別途お使いのOSの取扱説明書をお読みください。

STEP1

［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］を選択します。

STEP2

現在インストールされているプログラムから「DG-ASM20」を選択し、［削除］ボタンをクリックします。
→アンインストールプログラムが起動します。

STEP3

画面の指示に従ってアンインストールします。

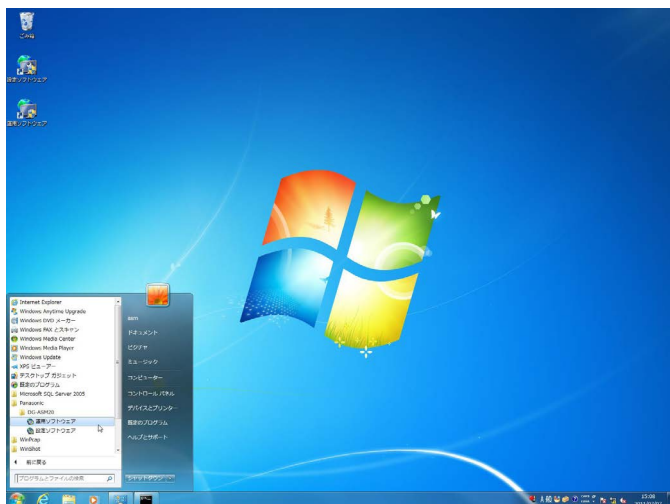
アプリケーションの起動と終了

アプリケーションを起動する

重要

●運用ソフトウェアを起動する前に、設定ソフトウェアでユーザーの登録、機器の登録など、運用ソフトウェアの操作に必要な情報を設定してください。

STEP1

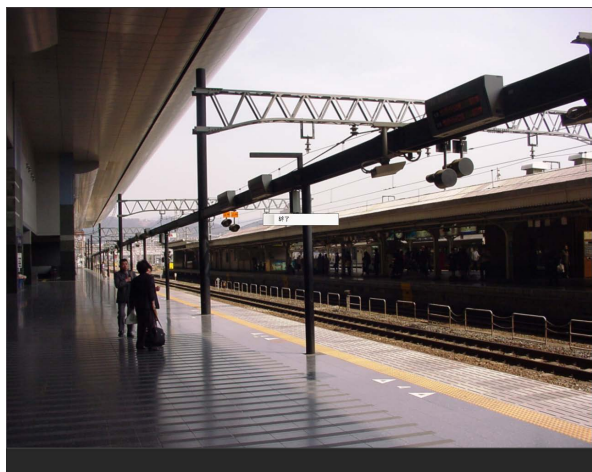
スタートメニューの［すべてのプログラム（P)］－［Panasonic］－［DG-ASM20］－［運用ソフトウェア］を選択、または、デスクトップ上の［運用ソフトウェア］アイコンをダブルクリックし、アプリケーションを起動します。

→ライブモニターが表示されます。運用ソフトウェア起動時、メッセージが表示されることがあります。「表示メッセージと対処方法」(☞87ページ）をお読みになり、内容を確認してください。

重要

●運用ソフトウェアの起動は、設定ソフトウェアを終了してから行ってください。設定ソフトウェアが起動していると、運用ソフトウェアを起動できません。

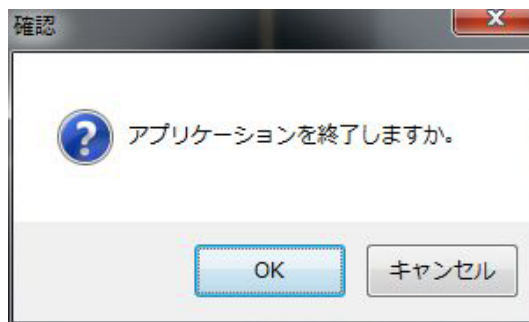
アプリケーションを終了する

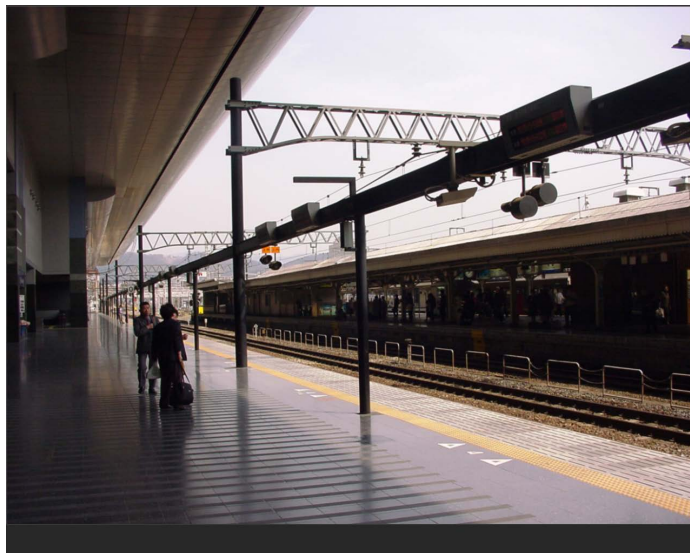
STEP1

右クリックし、ポップアップメニューの［終了］を選択します。

→終了確認画面が表示されます。

STEP2

［OK］ボタンをクリックします。

→運用ソフトウェアが終了します。

ライブモニターについて

運用ソフトウェアを起動すると、ライブ画像をグループ表示またはシーケンス表示します。
グループ表示とシーケンス表示のどちらで表示するかは、あらかじめ、設定ソフトウェアの［ライブモニター］にある「スタートモニター」で設定する必要があります。
設定について詳しくは58ページをお読みください。

外部機器から制御する

外部インターフェース機能を使用することにより、外部機器から以下の制御ができるようになります。

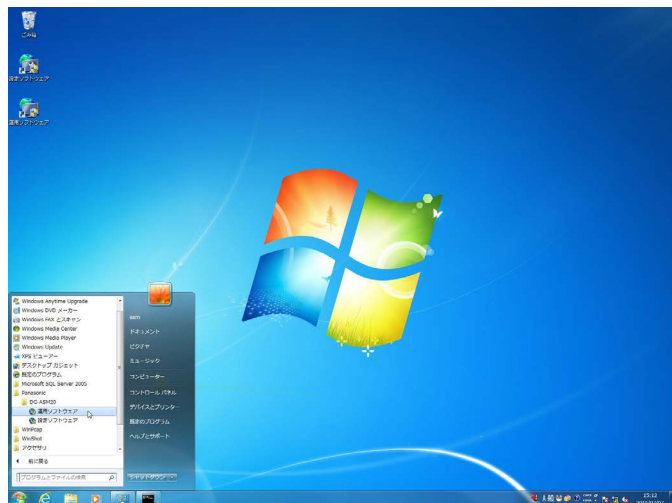
- ●画数を指定し、各エリアにカメラ画像を表示する。
- ●グループ登録した画像を表示する。
- ●シーケンスを開始、一時停止、再開する。
- ●シーケンス間隔を変更する。
- ●運用ソフトウェアを終了する。
- ●OSを再起動、終了する。

詳しくは「外部インターフェースコマンド一覧」（☞92ページ）をお読みください。

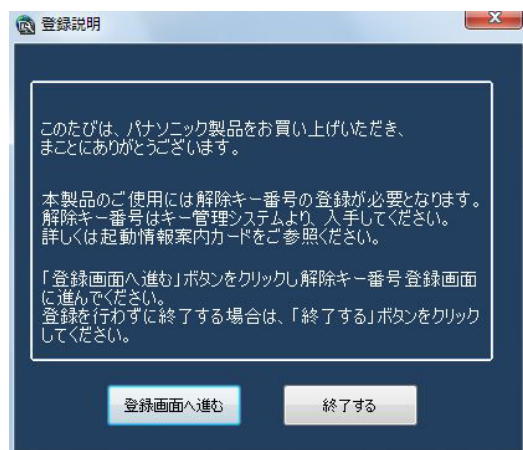
設定ソフトウェアの起動と終了

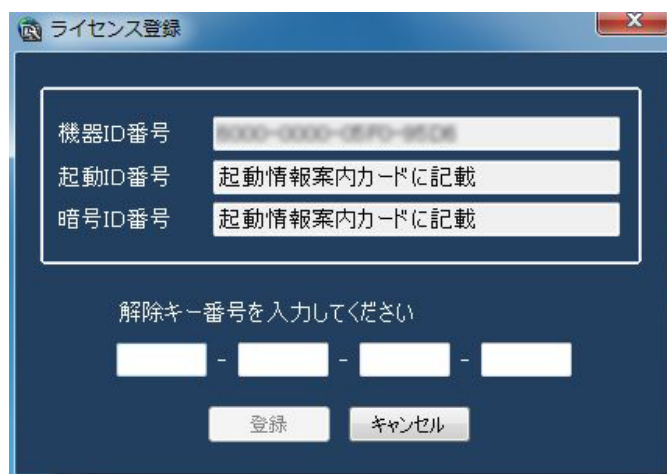
重要
- ●本ソフトウェアを使用するにはライセンスの登録が必要です。ライセンスが登録されないと、本ソフトウェアは起動しません。
- ●本ソフトウェアのライセンス登録時には、PCのネットワークアダプターが有効になっていることを確認してください。

STEP1

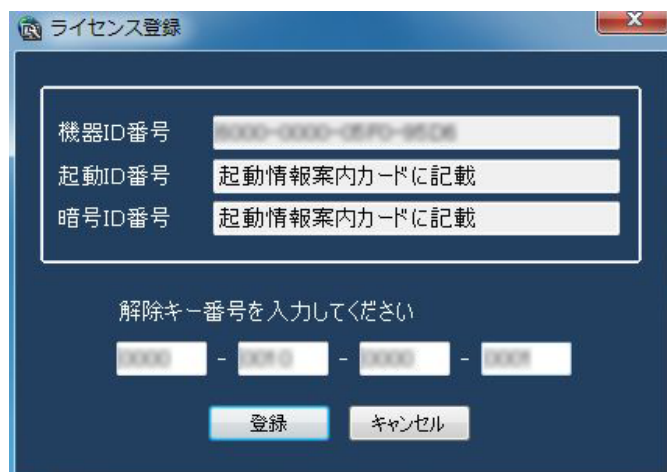
スタートメニューの［すべてのプログラム（P）］［Panasonic］－［DG-ASM20］－［設定ソフトウェア］を選択、またはデスクトップ上の［設定ソフトウェア］アイコンをダブルクリックし、設定ソフトウェアを起動します。

→登録説明画面が表示されます。

STEP2

登録説明画面に記載されている内容をお読みいただき、［登録画面へ進む］をクリックします。

STEP3

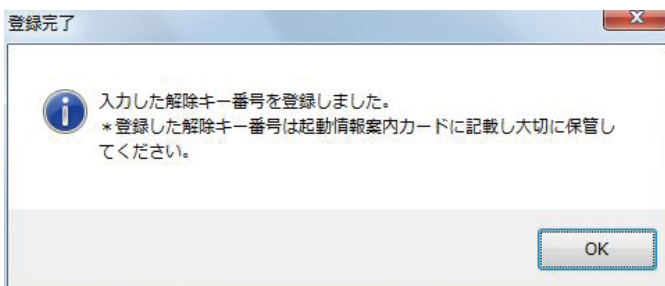
キー管理システムで取得した解除キー番号を入力します。

重要
- ●解除キー番号は、取得時に使用した機器ID番号が表示されたPCでのみ有効です。他のPCでは利用できません。

STEP4

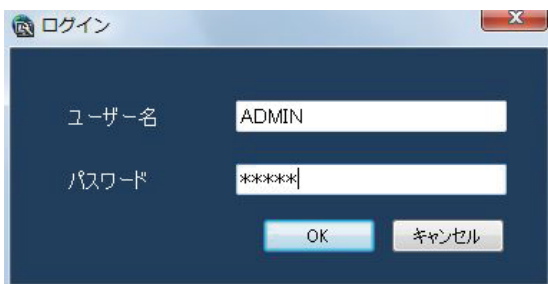
［登録］ボタンをクリックします。

→登録確認画面が表示されます。

重要
- ●必ずご使用になるPC上で登録を行ってください。

STEP5

[OK] ボタンをクリックします。

STEP6

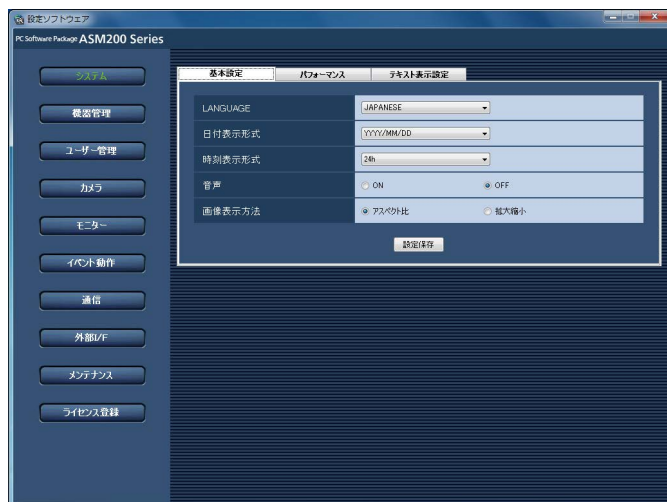
登録している「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

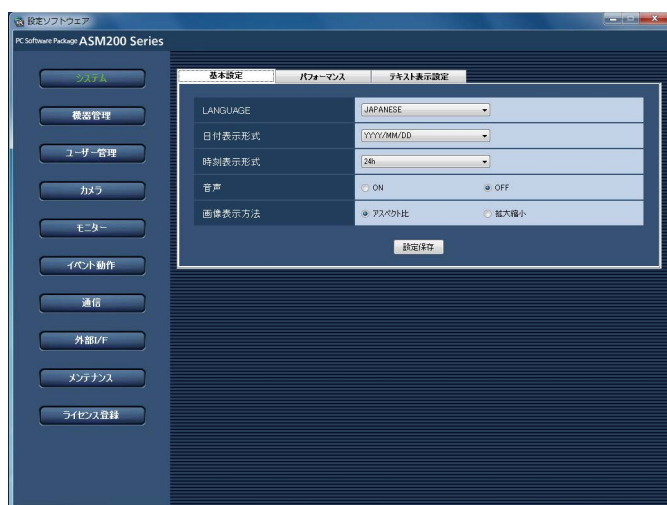
→インストール直後は、管理者のみ登録されています。ユーザー名「ADMIN」、パスワード「12345」を入力してください。

重要

- 設定ソフトウェアの起動は、運用ソフトウェアを終了してから行ってください。
  運用ソフトウェアが起動していると、設定ソフトウェアを起動できません。
- 管理者のパスワードは、セキュリティを確保するため、必ず「12345」以外に変更してください。また、定期的に変更することをおすすめいたします。パスワードの変更方法は、「管理者情報を設定する［管理者設定］」（☞50ページ）をお読みください。

STEP7

[OK] ボタンをクリックします。

→設定画面が表示されます。

STEP8

設定ソフトウェアを終了するときは、タイトルバーの [×] ボタンをクリックします。

→設定ソフトウェアが終了します。

設定画面について

設定ソフトウェアを起動すると、設定画面が表示されます。

■**タイトルバー**
設定ソフトウェアのタイトルが表示されます。

■**メニューボタン**
メニューボタンをクリックすると、各設定画面が表示されます。

■**各設定画面**
メニューボタンでクリックした設定メニューの設定画面が表示されます。ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。

■**詳細設定画面**
設定画面内のボタンをクリックすると、詳細な情報を入力する詳細設定画面が表示されます。

重要

- 各設定画面で設定した内容を保存するには、必ず［設定保存］ボタンをクリックしてください。［設定保存］ボタンをクリックしないと、設定した内容は保存されません。
- 詳細設定画面で設定した内容を保存するには、必ず［設定保存］ボタンをクリックしてください。［設定保存］ボタンをクリックせずに画面を終了すると、設定した内容は保存されません。
- 設定した内容にエラーがある場合、エラー項目が赤色で表示されます。エラー項目を修正し、再設定してください。

システムに関する設定

使用する言語、日時の表示形式、最大画面数、音声、操作モニターの自動全画面表示、最大画像更新速度を設定します。

言語・日付・時刻の表示形式などを設定する[基本設定]

[システム]ボタンをクリックし、[基本設定]タブをクリックして、基本設定画面を表示します。

■LANGUAGE
表示される言語を選択します。
　JAPANESE　：日本語
お買い上げ時の設定：JAPANESE

■日付表示形式
日付の表示形式を選択します。
例）2011年4月1日の場合
　YYYY/MM/DD　：2011/04/01
　MM/DD/YYYY　：04/01/2011
　Mmm/DD/YYYY　：Apr/01/2011
　DD/MM/YYYY　：01/04/2011
　DD/Mmm/YYYY　：01/Apr/2011
お買い上げ時の設定：YYYY/MM/DD

■時刻表示形式
時刻の表示形式を選択します。
例）午後3時00分00秒の場合
　12 h：03:00:00 PM
　24 h：15:00:00
お買い上げ時の設定：24 h

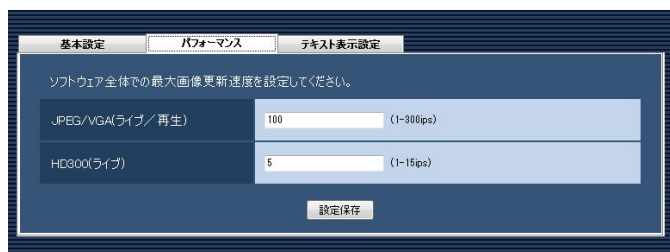
メモ
- 「日付表示形式」「時刻表示形式」が反映されるのは、以下のとおりです。
  各種ログリスト

■音声
音声機能を使用するかどうかを選択します。
　ON　：音声（送話／受話）機能を使用します。
　OFF　：音声（送話／受話）機能を使用しません。
お買い上げ時の設定：OFF

■画像表示方法
画像エリアの表示方法を選択します。
　アスペクト比：画像のアスペクト比を維持します。
　拡大縮小　：画像エリアいっぱいに拡大縮小して表示します。
お買い上げ時の設定：アスペクト比

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

最大画像更新速度を設定する［パフォーマンス］

［システム］ボタンをクリックし、［パフォーマンス］タブをクリックして、パフォーマンス画面を表示します。
ここでは、1秒間の最大画像更新速度を設定します。

メモ

- JPEG/VGA（ライブ／再生）の最大画像更新速度はお使いの動作環境にあわせて、設定値を変更してください。
  Intel® Core™ i5：240 ips
  Intel® Core™ i7：300 ips
  （参考）Intel® Core™ 2 Duo 2.66GHz：160 ips
- 解像度がQXGA（2048×1536）、SXVGA※1（1280×960）、SVGA（800×600）、QVGA（320×240）の画像についてはJPEG/VGA（ライブ／再生）の最大画像更新速度をそれぞれ入力された値に対して1/10倍、1/4倍、2/3倍、4倍して動作します。
  ※1　NP100＊のスキャンモードの設定がパーシャルの場合、画像サイズが960×720になります。
- 最大画像更新速度を画面数で割った値が、1画面あたりの最大画像更新速度になります。
  例）　最大画像更新速度が60 ipsの場合に、4画で表示すると、1画面あたりの最大画像更新速度は15 ipsになります。
- カメラ直接受信時は、カメラ設定画面にて設定された画像更新速度（☞45ページ）と比較し、より値の小さい方が1画面あたりの最大画像更新速度になります。
- ネットワークの環境、カメラ側の設定、システム画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した更新速度より更新間隔が遅くなることがあります。
- MPEG-4およびH.264画像については本ソフトウェアにて最大画像更新速度を制御できません。詳しくは、「MPEG-4およびH.264画像使用時の推奨カメラ設定」（☞8ページ）をお読みください。
- レコーダーのプログラム機能の録画レートの設定によっては、正しい更新速度で画像が更新されないことがあります。
- 1台あたりのHD300に対するライブレート（ASM20の台数×HD300（ライブ））を15 ips以下に設定してください。

■JPEG/VGA（ライブ／再生）
解像度がVGA（640×480）のJPEG画像に対するシステム全体での1秒間の最大画像更新速度を以下の範囲で入力します。
　1 ips～300 ips
お買い上げ時の設定：100 ips

■HD300（ライブ）
HD300のライブ画像に対するシステム全体での1秒間の最大画像更新速度を以下の範囲で入力します。
　1 ips～15 ips
お買い上げ時の設定：5 ips

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

カメラタイトルの表示に関する設定を行う［テキスト表示設定］

［システム］ボタンをクリックし、［テキスト表示設定］タブをクリックして、テキスト表示設定画面を表示します。
ここでは、カメラタイトルを表示するかどうかや、フォントサイズ、表示位置について設定します。
カメラタイトルの設定は各機器のカメラ設定画面で「タイトル」を設定します。カメラタイトルについては29、37、43ページをお読みください。

■テキスト表示
カメラタイトルを表示するかどうかを選択します。
　ON　：カメラタイトルを表示します。
　OFF ：カメラタイトルを表示しません。
お買い上げ時の設定：ON

■フォントサイズ
フォントサイズを入力します。入力可能な範囲は8～128 pixです。
お買い上げ時の設定：32 pix

■表示位置
カメラタイトルを表示する位置を選択します。
　左上　：ライブ画像の左上に表示します。
　中央上：ライブ画像の中央上に表示します。
　右上　：ライブ画像の右上に表示します。
　左下　：ライブ画像の左下に表示します。
　中央下：ライブ画像の中央下に表示します。
　右下　：ライブ画像の右下に表示します。
お買い上げ時の設定：左上

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

機器管理に関する設定

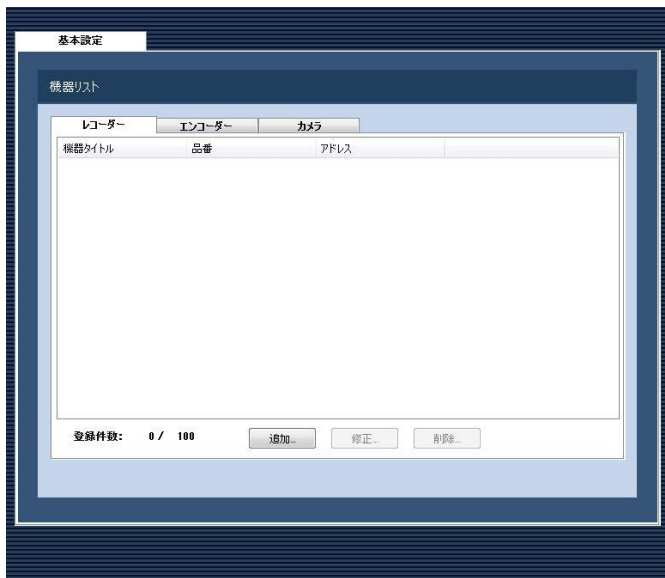
機器の追加／修正／削除を行います。登録できる機器の台数は、品番により異なります。各機器の登録数については、「商品仕様」（☞3ページ）をお読みください。

レコーダーを追加する［基本設定］

STEP1

［機器管理］ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

STEP2

［レコーダー］タブをクリックします。
→レコーダーの機器リスト画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■機器リスト

登録されたレコーダーのタイトル、品番、アドレスを一覧表示します。

■登録件数

登録されたレコーダーの台数を表示します。

■［追加...］ボタン

機器登録画面を表示します。

■［修正...］ボタン

機器リストで選択されたレコーダーの機器登録画面を表示します。

■［削除...］ボタン

機器リストで選択されたレコーダーを削除します。

STEP3

［追加...］ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。

メモ

- すでに最大台数を登録している場合は、［追加...］ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■アドレス

レコーダーのアドレスを入力します。アドレスは半角英数字255文字以内で入力します。

■HTTPポート番号

HTTPポート番号を以下の範囲で入力します。
　1～65535
お買い上げ時の設定：80

■プロキシの使用

レコーダーに接続するときに、プロキシを使用するかどうかを選択します。
　ON　：プロキシを使用します。
　OFF　：プロキシを使用しません。
お買い上げ時の設定：OFF

重要
- カメラ直接受信時はプロキシサーバーを経由せずにライブ画像を受信します。

メモ
- プロキシのアドレスは通信画面の［基本設定］タブ（☞60ページ）で設定します。

■管理者名
レコーダーに登録されている管理者名を入力します。管理者名は半角英数字4文字以上14文字以内で入力します。
お買い上げ時の設定：ADMIN

メモ
- 管理者名に、administrator、guest、operator、users、nogroup、shutdown、shadow、hdusersを使用することはできません。
- 機器情報の取得後、機器がHD300であると認識すると本項目は入力不可となります。

■パスワード
レコーダーに登録されている管理者のパスワードを入力します。パスワードは「＊」で表示されます。パスワードは半角英数字4文字以上8文字以内で入力します。
お買い上げ時の設定：12345

■［取得...］ボタン
「アドレス」「HTTPポート番号」「プロキシの使用」に入力した条件で機器情報を取得します。

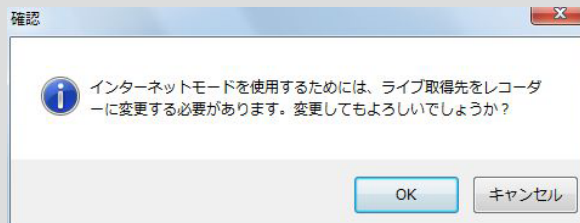
■品番
機器情報の取得時にレコーダーから取得したレコーダーの品番を表示します。機器情報の取得前は「未取得」と表示されます。

■機器タイトル
レコーダー名を入力します。機器タイトルは16文字以内で入力します。半角記号の！＄％’<＝>＠［￥］＾＿｀｛¦｝˜は使用できません。

■FTPポート番号
FTPポート番号を以下の範囲で入力します。
　1～65535
お買い上げ時の設定：21

重要
- Windows Vista、Windows 7でファイアウォールを有効にしている場合、「FTPポート番号」に設定したポートを使用できるように設定する必要があります。「ファイアウォールの例外設定」（☞83ページ）の手順で設定を行ってください。

■インターネットモード（over HTTP）
H.264およびMPEG-4画像をインターネット経由で受信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでH.264およびMPEG-4画像を配信することができます。
　ON　：HTTPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。
　OFF ：UDPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。
お買い上げ時の設定：OFF

重要
- ND400（バージョン2.40以降）およびHD600（バージョン2.04以降）およびNV200（バージョン1.04以降）の場合のみ設定できます。
- インターネットモードをONにすると、ライブ取得先はすべてレコーダーに変更されます。

■［表示...］ボタン
取得したカメラ設定の情報画面を表示します。機器情報の取得前はボタンをクリックできません。

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

機器管理に関する設定（つづき）

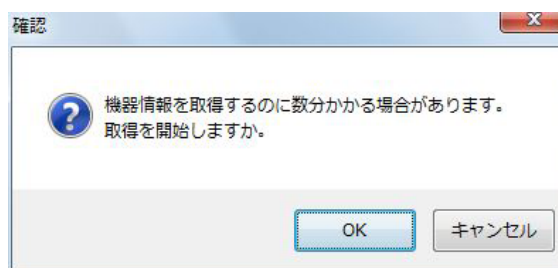
STEP4

「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」、「管理者名」、「パスワード」を入力します。

STEP5

［取得...］ボタンをクリックします。

重要

- 機器情報の取得をする前に、レコーダー本体のセットアップメニューの「ネットワークカメラ設定」を必ず行ってください。レコーダーが正しく設定されていないと、レコーダーの情報を取得できません。
- レコーダー本体の設定を変更した場合は、機器情報を再度取得し直してください。

STEP6

［OK］ボタンをクリックします。

→機器情報取得中画面が表示されます。
機器情報取得を中止するには、機器情報取得中画面の［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

STEP7

画面表示を確認し、次のSTEPに進みます。

＜機器情報の取得が完了した場合＞

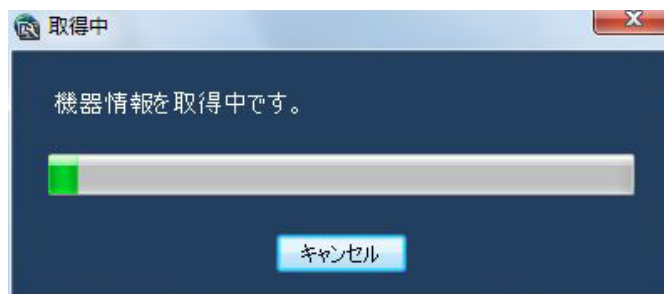
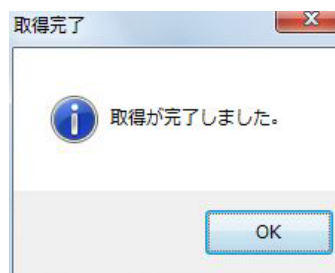
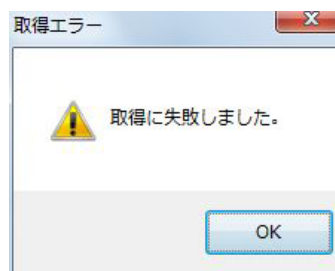
1.［OK］ボタンをクリックします。

→取得完了画面が閉じ、機器登録画面に戻ります。

2. STEP8へ進みます。

＜機器情報の取得が失敗した場合＞

1. 画面に表示されている失敗内容を確認します。

メモ

- 入力した機器情報にミスがないかどうかを確認してください。入力が正しい場合、接続した機器、または機器のバージョンが対応していない可能性があります。詳しくは「対応機器一覧」（☞4ページ）をお読みください。
- 表示メッセージと対処方法については、表示メッセージと対処方法の「機器登録画面の［取得...］ボタンクリック時」（☞88ページ）をお読みください。

2. ［OK］ボタンをクリックします。
   →取得エラー画面が閉じます。

3. 機器登録画面に戻り、設定内容を確認します。

4. 再度、機器情報を取得します。

STEP8

「機器タイトル」、「FTPポート番号」の機器情報を入力します。

STEP9

［表示...］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が表示されます。

＜ネットワークディスクレコーダーのカメラ設定画面＞

＜ HD300のカメラ設定画面＞

＜ HD600のカメラ設定画面＞

画面の説明は以下のとおりです。

■カメラCHタブ

チャンネルを切り換えます。

メモ

- レコーダーによって表示されるタブが変わります。
- HD300、HD600はタブが表示されません。

■CH

チャンネル番号が表示されます。

■タイトル

レコーダーから取得したカメラ名を表示します。表示した名称は変更できます。
カメラ名は16文字以内で入力します。半角記号の ! $ % ’ < = > @ [¥] ^ _ ` { ¦ } ˜は使用できません。

メモ

- HD600やNV200でカメラタイトルに半角記号の! $%’＜＝＞@ [￥] ^ _ ` { ¦ } ˜を使用していた場合、半角スペースに置き換わります。

■品番

レコーダーから取得したカメラの品番を表示します。カメラが設定されていないチャンネルは、「- -」が表示されます。

メモ

- NV200でカメラを登録した場合、品番には「DG-」や「WJ-」は表示されません。

■種別

レコーダーから取得したカメラの種別と種別に該当するアイコンを表示します。

ドーム型カメラ1、ドーム型カメラ2、ドーム型カメラ3、ドーム型カメラ4、ドーム型カメラ5、ドーム型カメラ6、ドーム型カメラ7、ドーム型カメラ8、ドーム型カメラ9、ドーム型カメラ10、固定カメラ1、固定カメラ2、固定カメラ3、固定カメラ4、全方位カメラ1、全方位カメラ2の16種類あります。

お買い上げ時の設定

：NV200の場合は、カメラの品番によって異なります。ND400の場合は、「ドーム型カメラ1」、「固定カメラ1」、「全方位カメラ1」、「全方位カメラ2」のいずれかとなります。

その他のネットワークディスクレコーダーの場合は、「ドーム型カメラ1」または「固定カメラ1」になります。HD300、HD600の場合は、「ドーム型カメラ1」になります。

メモ

- 種別を変更してもマップにすでに登録されているカメラアイコンは変更されません。

■ライブ取得先

ライブ画像の取得先を選択します。

レコーダー　：レコーダーを経由してライブ画像を見ることができます。

カメラ　：カメラのライブ画像を直接見ることができます（カメラ直接受信）。「カメラ」を選択した場合でも、レコーダーにカメラの登録が必要です。カメラの登録方法については、お使いのレコーダーの取扱説明書をお読みください。

お買い上げ時の設定：レコーダー

メモ

- カメラ直接受信時は、レコーダーのライブ配信設定が「OFF」の場合でもライブ画像を見ることができます。
- カメラを選択するとメッセージが表示されることがあります。表示メッセージと対処方法については、表示メッセージと対処方法の「カメラ設定画面のライブ取得先選択時」（☞89ページ）をお読みください。

■圧縮方式

カメラの品番ごとに圧縮方式を選択します。H.264またはMPEG-4に対応したカメラで、「ライブ取得先」を「カメラ」にしないと選択できません。

M-JPEG　：ライブ画像をM-JPEGで見ることができます。

MPEG-4　：ライブ画像をMPEG-4で見ることができます。

H.264　：ライブ画像をH.264で見ることができます。

お買い上げ時の設定：レコーダーで設定されている内容を表示します。

レコーダーでのカメラの圧縮方式の設定方法については、お使いのレコーダーの取扱説明書をお読みください。

■解像度（JPEG）

解像度を選択します。

解像度は、「ライブ取得先」を「カメラ」、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO ※1　：1画および4画の場合、VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。9画および16画の場合、QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。

QVGA　：QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

QVGA／320×180

：QVGA（320×240、16:9モード時は320×180）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA　：VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA ／ 640×360
: VGA（640×480、16:9モード時は640×360）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA ／ 640×360 ／ 800×600
: VGA（640×480、16:9モード時は640×360、4:3（800×600）モード時は800×600）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

800×600
: 800×600の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1280×960 ※2
: 1280×960の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1280×960 ／ 1280×720
: 1280×960（16:9モード時は1280×720）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1920×1080 ※3
: 1920×1080の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

2048×1536 ※4
: 2048×1536の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

※1　NP502またはNW502の撮像モードが3メガピクセルの場合は、画面数に関わらず「VGA」の画像を表示します。
また、全方位カメラの撮像モードが3メガピクセルの場合は、画面数に関わらず「2048×1536」の画像を表示します。

※2　NP100＊のスキャンモードがパーシャルの場合、画像サイズが960×720になります。

※3　撮像モードが2メガピクセル「16:9」／ 3メガピクセル「16:9」／ 2M ダブルパノラマ「16:9」／ 2M パノラマ「16:9」の場合以外は、設定とは異なる解像度の画像となるか、エラーとなります。

※4　撮像モードが3メガピクセル「4:3」／ 3M 魚眼「4:3」の場合以外は、設定とは異なる解像度の画像となるか、エラーとなります。

お買い上げ時の設定：
「ライブ取得先」が「カメラ」、「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。

■画像更新速度（JPEG）

カメラから1秒間に受信する最大画像更新速度を以下から選択します。画像更新速度は「ライブ取得先」を「カメラ」、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO ／ 0.1 ips ／ 0.2 ips ／ 0.3 ips ／ 0.5 ips ／ 1 ips ／ 2 ips ／ 3 ips ／ 5 ips ／ 10 ips ／ 15 ips ／ ALL

「AUTO」を選択すると、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度に従い適切な値を設定します。
「ALL」を選択すると30 ipsで設定します。

お買い上げ時の設定
:「ライブ取得先」が「カメラ」、「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。

メモ

- 「0.1 ips」、「0.2 ips」、「0.3 ips」、「0.5 ips」は、カメラの品番によっては選択できません。
- ネットワークの環境、カメラ側の設定、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した画像更新速度より更新間隔が遅くなることがあります。
- パフォーマンス画面の設定については、「最大画像更新速度を設定する［パフォーマンス］」（☞24ページ）をお読みください。

■ストリーム種別（H.264・MPEG-4）

ストリーム種別を選択します。
H.264に対応したカメラで、「ライブ取得先」を「カメラ」、「圧縮方式」を「H.264」もしくは「MPEG-4」にしないと選択できません。

AUTO：1画の場合、H.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。4画、9画および16画の場合、H.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。

H.264・MPEG-4（1）
: 常にH.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。

H.264・MPEG-4（2）
: 常にH.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。

お買い上げ時の設定：H.264・MPEG-4（1）

メモ

- 「H.264・MPEG-4（1）」と「H.264・MPEG-4（2）」の各ストリームの設定については、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
- 「AUTO」を選択する場合、「H.264・MPEG-4（1）」は1画面用の配信設定、「H.264・MPEG-4（2）」は多画面用の配信設定を行うと、ネットワークの使用帯域を軽減し、PCのCPU負荷を下げることができます。

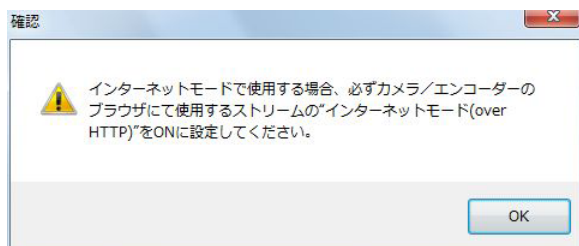
■インターネットモード（over HTTP）

ライブ取得先が「カメラ」時に、H.264およびMPEG-4画像、音声受信でHTTPポートを使用するかUDPポートを使用するか選択します。

ON ：HTTPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。
OFF ：UDPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。

お買い上げ時の設定：「ライブ取得先」が「カメラ」の場合は「OFF」、それ以外は「－－」

メモ

- 本モードは、カメラがRP-244、DG-NP244、RP-NP1000、DG-NP1000、RP-NP1004、DG-NP1004、DG-NS202、DG-NS202A、DG-NF282、DG-NW484、DG-NS950、DG-NW960、DG-NP304、DG-NF302、DG-NT304、DG-NT314のときは使用できません。
- インターネットモードをONにすると、［OK］ボタン押下時に、下記ダイアログが表示されます。インターネットモードを使用している場合は、カメラ側の設定を「インターネットモード（over HTTP）」をONにしてください。

■アドレス

レコーダーから取得したカメラのアドレスを表示します。

メモ

- インターネットモードを使用している場合、インターネットからアクセス可能なアドレスに変更しないと、正しく映像が表示されない場合があります。

■ライブ画解像度（1画）

1画表示でのライブ映像の解像度を以下から選択します。

録画解像度 ：録画の際の解像度で配信されます。
QVGA ：QVGAサイズで配信されます。

お買い上げ時の設定：録画解像度

■ライブ画解像度（4画）

4画表示でのライブ映像の解像度を以下から選択します。

録画解像度 ：録画の際の解像度で配信されます。
QVGA ：QVGAサイズで配信されます。

お買い上げ時の設定：QVGA

メモ

- 「録画解像度」、「QVGA」選択時の配信内容（配信レート、画質など）の設定についてはHD600の取扱説明書をお読みください。
- レコーダーから配信されるレートが低い場合、映像が表示されないことがあります。シーケンスをお使いの際はライブ画解像度（1画）、ライブ画解像度（4画）の設定を「QVGA」にしてください。

■［OK］ボタン

カメラ設定画面を閉じます。

STEP10

情報を入力し、［OK］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が閉じます。

メモ

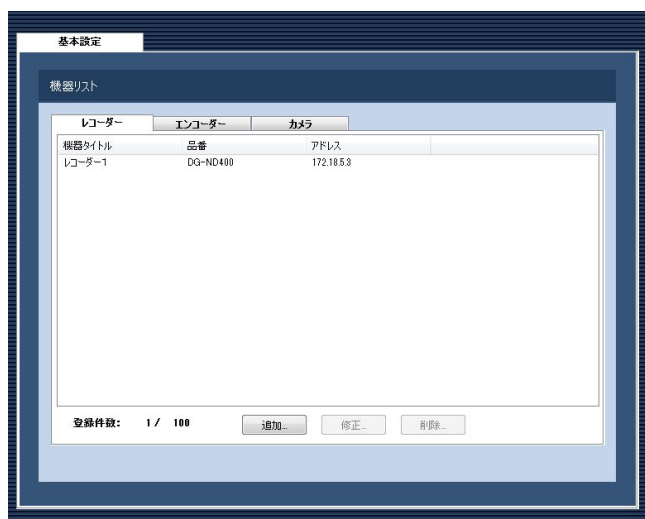
- ［OK］ボタンをクリックしてカメラ設定画面を閉じても、設定は保存されません。カメラ設定画面を閉じた後、機器登録画面で［設定保存］ボタンをクリックしてください。

STEP11

［設定保存］ボタンをクリックします。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。機器リストにレコーダーが追加されます。

レコーダーを修正する［基本設定］

STEP1

レコーダーの機器リスト画面を表示します。
(☞26ページ)

STEP2

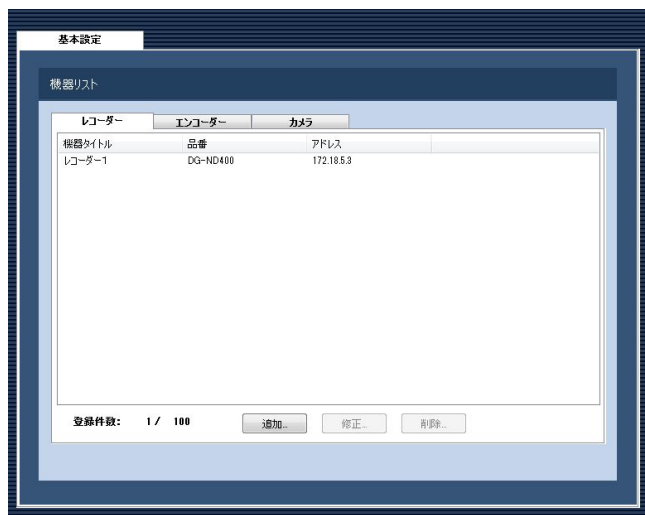
機器リストから修正するレコーダーを選択し、［修正...］ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。

STEP3

情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。
各項目については「レコーダーを追加する［基本設定］」(☞26ページ)をお読みください。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。

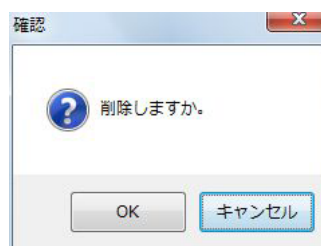
レコーダーを削除する［基本設定］

STEP1

レコーダーの機器リスト画面を表示します。
(☞26ページ)

STEP2

機器リストから削除するレコーダーを選択します。

STEP3

［削除...］ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。

STEP4

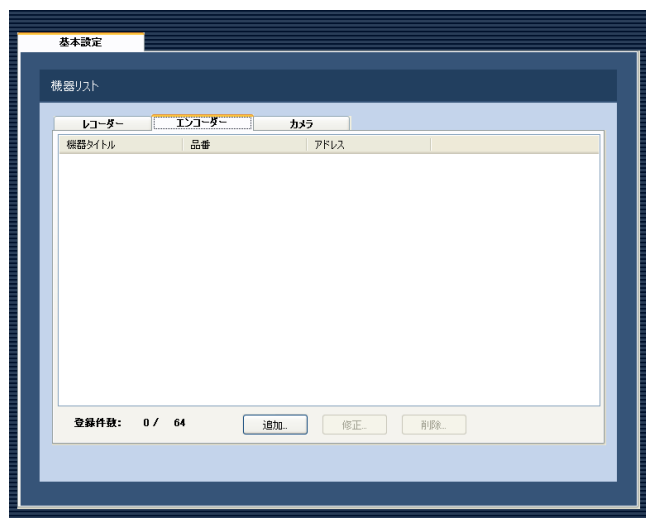
［OK］ボタンをクリックします。
→機器情報が削除されます。

エンコーダーを追加する［基本設定］

STEP1

［機器管理］ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

STEP2

［エンコーダー］タブをクリックします。
→エンコーダーの機器リスト画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■機器リスト
登録されたエンコーダーのタイトル、品番、アドレスを一覧表示します。

■登録件数
登録されたエンコーダーの台数を表示します。

■［追加...］ボタン
機器登録画面を表示します。

■［修正...］ボタン
機器リストで選択されたエンコーダーの機器登録画面を表示します。

■［削除...］ボタン
機器リストで選択されたエンコーダーを削除します。

STEP3

［追加...］ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。

メモ
- すでに最大台数を登録している場合は、［追加...］ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■アドレス
エンコーダーのアドレスを入力します。アドレスは半角英数字255文字以内で入力します。

■HTTPポート番号
HTTPポート番号を以下の範囲で入力します。
1～65535
お買い上げ時の設定：80

■プロキシの使用
エンコーダーに接続するときに、プロキシを使用するかどうかを選択します。
ON　：プロキシを使用します。
OFF　：プロキシを使用しません。
お買い上げ時の設定：OFF

メモ
- プロキシのアドレスは通信画面の［基本設定］タブ（☞60ページ）で設定します。

■管理者名
エンコーダーに登録されている管理者名を入力します。管理者名は半角英数字1文字以上32文字以内で入力します。
お買い上げ時の設定：admin

■パスワード
エンコーダーに登録されている管理者のパスワードを入力します。パスワードは「＊」で表示されます。パスワードは半角英数字1文字以上32文字以内で入力します。
お買い上げ時の設定：12345

■［取得...］ボタン
「アドレス」「HTTPポート番号」「プロキシの使用」に入力した条件で機器情報を取得します。

■品番
機器情報の取得時にエンコーダーから取得したエンコーダーの品番を表示します。機器情報の取得前は「未取得」と表示されます。

■機器タイトル
エンコーダー名を入力します。機器タイトルは16文字以内で入力します。半角記号の！＄％’＜＝＞＠［￥］^ _ ` { ¦ } ˜は使用できません。

■インターネットモード（over HTTP）
H.264およびMPEG-4画像、音声受信でHTTPポートを使用するかUDPポートを使用するか選択します。
ON　：HTTPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。
OFF　：UDPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。
お買い上げ時の設定：OFF

本モードは、エンコーダーがGXE500のときのみ使用できます。
インターネットモードをONにすると、［設定保存］ボタン押下時に、下記ダイアログが表示されます。インターネットモードを使用している場合は、エンコーダー側の設定を「インターネットモード（over HTTP）」をONにしてください。

■［表示...］ボタン
取得したカメラ設定の情報画面を表示します。機器情報の取得前はボタンをクリックできません。

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

STEP4
「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」、「管理者名」、「パスワード」を入力します。

STEP5

［取得...］ボタンをクリックします。

重要

●エンコーダー本体の設定を変更した場合は、機器情報を再度取得し直してください。

STEP6

［OK］ボタンをクリックします。

→機器情報取得中画面が表示されます。
機器情報取得を中止するには、機器情報取得中画面の［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

STEP7

画面表示を確認し、次のSTEPに進みます。

＜機器情報の取得が完了した場合＞

1．［OK］ボタンをクリックします。

→取得完了画面が閉じ、機器登録画面に戻ります。

2．STEP8 へ進みます。

＜機器情報の取得が失敗した場合＞

1．画面に表示されている失敗内容を確認します。

メモ

●入力した機器情報にミスがないかどうかを確認してください。入力が正しい場合、接続した機器、または機器のバージョンが対応していない可能性があります。詳しくは「対応機器一覧」（☞4ページ）をお読みください。

2．［OK］ボタンをクリックします。
→取得エラー画面が閉じます。

3．機器登録画面に戻り、設定内容を確認します。

4．再度、機器情報を取得します。

STEP8

「機器タイトル」を入力します。

STEP9

［表示...］ボタンをクリックします。

→カメラ設定画面が表示されます。

＜ GXE500のカメラ設定画面＞

＜ GXE100のカメラ設定画面＞

＜ NT304 ／ NT314のカメラ設定画面＞

画面の説明は以下のとおりです。

■CH

チャンネル番号が表示されます。

■タイトル

カメラ名を入力します。カメラ名は16文字以内で入力します。半角記号の ! $ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { ¦ } ~は使用できません。

お買い上げ時の設定：チャンネル番号

■種別

カメラの種別と種別に該当するアイコンを表示します。ドーム型カメラ1、ドーム型カメラ2、ドーム型カメラ3、ドーム型カメラ4、ドーム型カメラ5、ドーム型カメラ6、ドーム型カメラ7、ドーム型カメラ8、ドーム型カメラ9、ドーム型カメラ10、固定カメラ1、固定カメラ2、固定カメラ3、固定カメラ4、全方位カメラ1、全方位カメラ2の16種類あります。

お買い上げ時の設定：ドーム型カメラ1

メモ

- 種別を変更してもマップにすでに登録されているカメラアイコンは変更されません。

■圧縮方式

圧縮方式を選択します。

M-JPEG ：ライブ画像をM-JPEGで見ることができます。

MPEG-4 ：ライブ画像をMPEG-4で見ることができます。

H.264 ：ライブ画像をH.264で見ることができます。

お買い上げ時の設定

：H.264に対応したエンコーダーの場合は「H.264」。それ以外の場合は「MPEG-4」。

■解像度（JPEG）

解像度を選択します。

解像度は、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO ：1画および4画の場合、VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。9画および16画の場合、QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。

QVGA／320×180
：QVGA（320×240、16:9モード時は320×180）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。
VGA／640×360
：VGA（640×480、16:9モード時は640×360）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。
お買い上げ時の設定
：「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。

■画像更新速度（JPEG）
カメラから1秒間に受信する最大画像更新速度を以下から選択します。画像更新速度は「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。
AUTO／0.1 ips／0.2 ips／0.3 ips／0.5 ips／1 ips／2 ips／3 ips／5 ips／10 ips／15 ips／ALL
「AUTO」を選択すると、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度に従い適切な値を設定します。
「ALL」を選択すると30 ipsで設定します。
お買い上げ時の設定
：「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。

メモ
- ネットワークの環境、カメラ側の設定、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した画像更新速度より更新間隔が遅くなることがあります。
- パフォーマンス画面の設定については、「最大画像更新速度を設定する［パフォーマンス］」（☞24ページ）をお読みください。

■ストリーム種別（H.264・MPEG-4）
ストリーム種別を選択します。
H.264に対応したエンコーダーで、「圧縮方式」を「H.264」もしくは「MPEG-4」にしないと選択できません。
H.264・MPEG-4（1）：常にH.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。
H.264・MPEG-4（2）：常にH.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。
お買い上げ時の設定：H.264・MPEG-4（1）

メモ
- 「H.264・MPEG-4（1）」と「H.264・MPEG-4（2）」の各ストリームの設定については、お使いのエンコーダーの取扱説明書をお読みください。

■［OK］ボタン
カメラ設定画面を閉じます。

STEP10
情報を入力し、［OK］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が閉じます。

メモ
- ［OK］ボタンをクリックしてカメラ設定画面を閉じても、設定は保存されません。カメラ設定画面を閉じた後、機器登録画面で［設定保存］ボタンをクリックしてください。

STEP11
［設定保存］ボタンをクリックします。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。機器リストにエンコーダーが追加されます。

エンコーダーを修正する［基本設定］

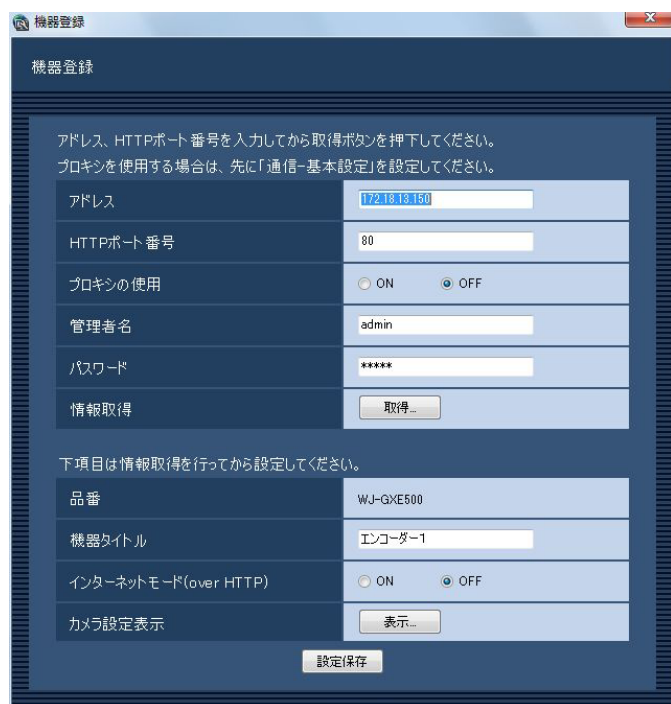
STEP1

エンコーダーの機器リスト画面を表示します。
（☞34ページ）

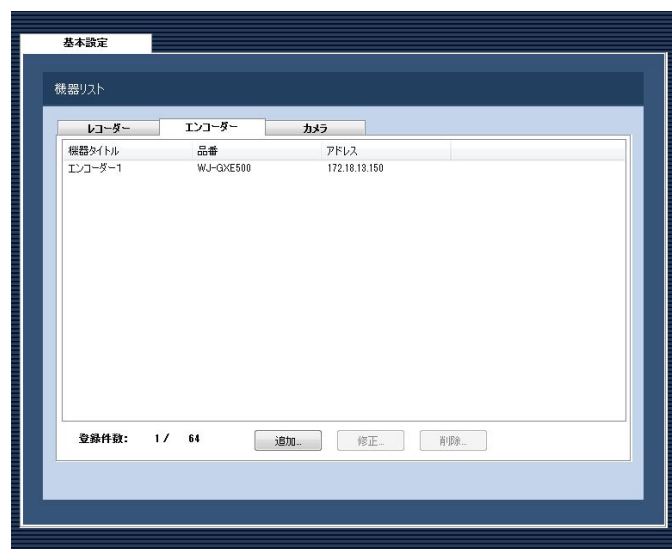
STEP2

機器リストから修正するエンコーダーを選択し、［修正...］ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。

STEP3

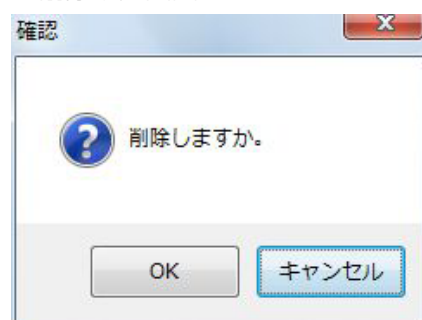
情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。
各項目については「エンコーダーを追加する［基本設定］」（☞34ページ）をお読みください。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。

エンコーダーを削除する［基本設定］

STEP1

エンコーダーの機器リスト画面を表示します。
（☞34ページ）

STEP2

機器リストから削除するエンコーダーを選択します。

STEP3

［削除...］ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。

STEP4

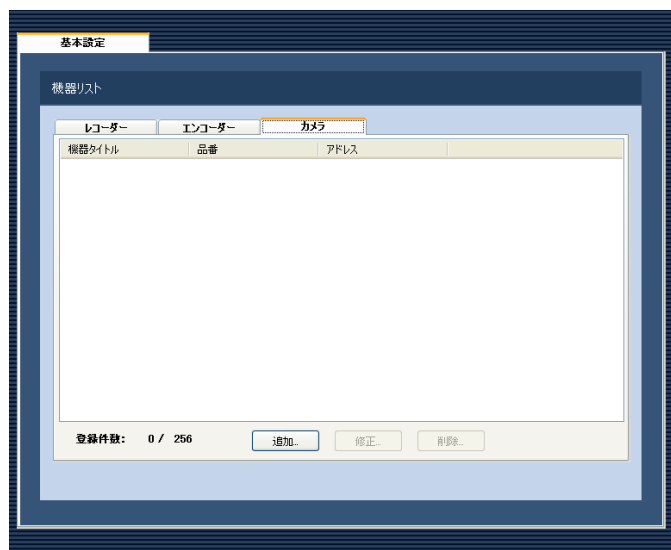
［OK］ボタンをクリックします。
→機器情報が削除されます。

カメラを追加する［基本設定］

STEP1

［機器管理］ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

STEP2

［カメラ］タブをクリックします。
→カメラの機器リスト画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■機器リスト
登録されたカメラのタイトル、品番、アドレスを一覧表示します。

■登録件数
登録されたカメラの台数を表示します。

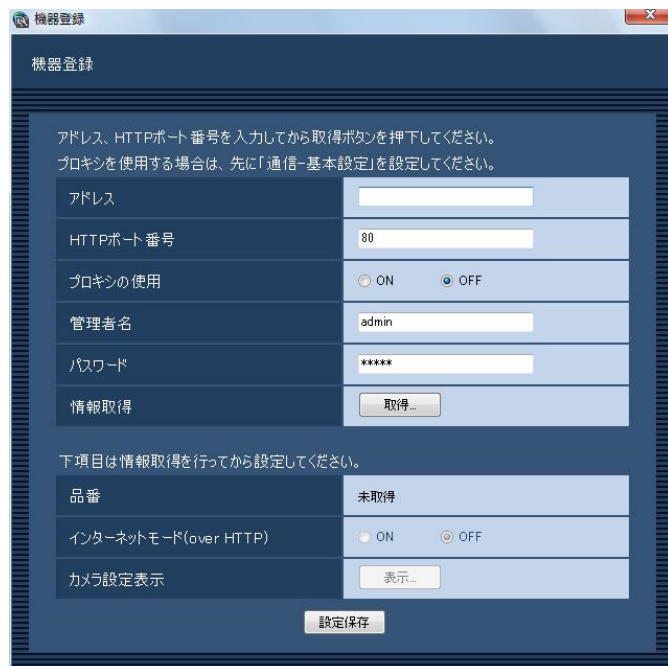
■［追加...］ボタン
機器登録画面を表示します。

■［修正...］ボタン
機器リストで選択されたカメラの機器登録画面を表示します。

■［削除...］ボタン
機器リストで選択されたカメラを削除します。

STEP3

［追加...］ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。

メモ
- すでに最大台数を登録している場合は、［追加...］ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■アドレス
カメラのアドレスを入力します。アドレスは半角英数字255文字以内で入力します。

■HTTPポート番号
HTTPポート番号を以下の範囲で入力します。
1～65535
お買い上げ時の設定：80

■プロキシの使用
カメラに接続するときに、プロキシを使用するかどうかを選択します。
ON ：プロキシを使用します。
OFF ：プロキシを使用しません。
お買い上げ時の設定：OFF

メモ
- プロキシのアドレスは通信画面の［基本設定］タブ（☞60ページ）で設定します。

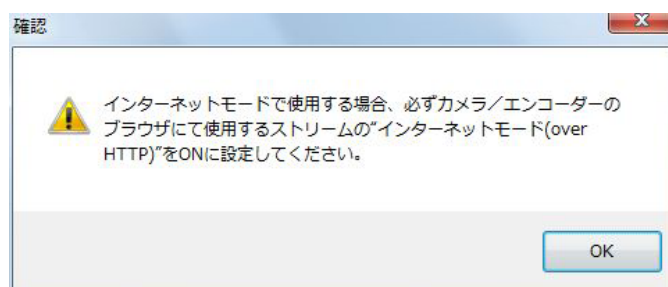
■管理者名
カメラに登録されている管理者名を入力します。管理者名は半角英数字1文字以上32文字以内で入力します。
お買い上げ時の設定：admin

■パスワード
カメラに登録されている管理者のパスワードを入力します。パスワードは「＊」で表示されます。パスワードは半角英数字4文字以上32文字以内で入力します。
お買い上げ時の設定：12345

■［取得...］ボタン
「アドレス」「HTTPポート番号」「プロキシの使用」に入力した条件で機器情報を取得します。

■品番
機器情報の取得時にカメラから取得したカメラの品番を表示します。機器情報の取得前は「未取得」と表示されます。

■インターネットモード（over HTTP）
H.264およびMPEG-4画像、音声受信でHTTPポートを使用するかUDPポートを使用するか選択します。
　ON　：HTTPポートを使用してH.264および
　　　　MPEG-4画像、音声を受信します。
　OFF ：UDPポートを使用してH.264および
　　　　MPEG-4画像、音声を受信します。
お買い上げ時の設定：OFF

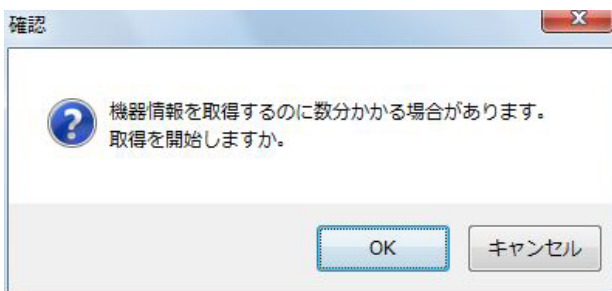
本モードは、カメラがRP-244、DG-NP244、RP-NP1000、DG-NP1000、RP-NP1004、DG-NP1004、DG-NS202、DG-NS202A、DG-NF282、DG-NW484、DG-NS950、DG-NW960、DG-NP304、DG-NF302のときは使用できません。
インターネットモードをONにすると、［設定保存］ボタン押下時に、下記ダイアログが表示されます。インターネットモードを使用している場合は、カメラ側の「インターネットモード（over HTTP）」設定をONにしてください。

■［表示...］ボタン
取得したカメラ設定の情報画面を表示します。機器情報の取得前はボタンをクリックできません。

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

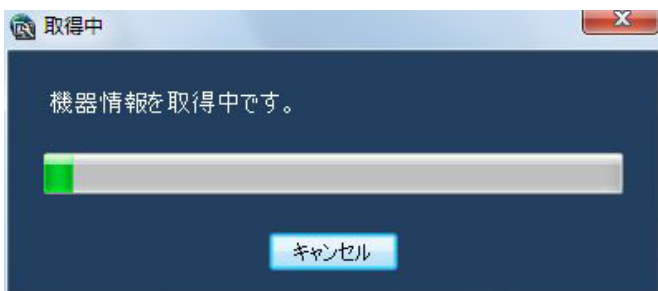
STEP4
「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」、「管理者名」、「パスワード」を入力します。

STEP5
［取得...］ボタンをクリックします。

重要

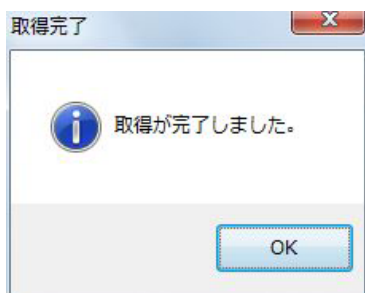
●カメラ本体の設定を変更した場合は、機器情報を再度取得し直してください。

STEP6

［OK］ボタンをクリックします。

→機器情報取得中画面が表示されます。
機器情報取得を中止するには、機器情報取得中画面の［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

STEP7

画面表示を確認し、次のSTEPに進みます。

<機器情報の取得が完了した場合>

1. ［OK］ボタンをクリックします。

→取得完了画面が閉じ、機器登録画面に戻ります。

2. 取得機器が固定カメラまたはPTZカメラの場合はSTEP8-1へ進みます。
全方位カメラの場合はSTEP8-2へ進みます。

<機器情報の取得が失敗した場合>

1. 画面に表示されている失敗内容を確認します。

メモ

●入力した機器情報にミスがないかどうかを確認してください。入力が正しい場合、接続した機器、または機器のバージョンが対応していない可能性があります。詳しくは「対応機器一覧」（☞4ページ）をお読みください。

2. ［OK］ボタンをクリックします。
→取得エラー画面が閉じます。

3. 機器登録画面に戻り、設定内容を確認します。

4. 再度、機器情報を取得します。

STEP8-1

［表示...］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■タイトル

カメラ名を入力します。カメラ名は16文字以内で入力します。半角記号の！＄％’ <＝>＠［￥］＾＿｀｛¦｝˜は使用できません。
お買い上げ時の設定：1

■種別

カメラの種別と種別に該当するアイコンを表示します。ドーム型カメラ1、ドーム型カメラ2、ドーム型カメラ3、ドーム型カメラ4、ドーム型カメラ5、ドーム型カメラ6、ドーム型カメラ7、ドーム型カメラ8、ドーム型カメラ9、ドーム型カメラ10、固定カメラ1、固定カメラ2、固定カメラ3、固定カメラ4、全方位カメラ1、全方位カメラ2の16種類あります。

お買い上げ時の設定：カメラの品番によって異なります。

メモ

- 種別を変更してもマップにすでに登録されているカメラアイコンは変更されません。

■圧縮方式

圧縮方式を選択します。H.264またはMPEG-4に対応したカメラでないと選択できません。

M-JPEG：ライブ画像をM-JPEGで見ることができます。

MPEG-4：ライブ画像をMPEG-4で見ることができます。

H.264：ライブ画像をH.264で見ることができます。

お買い上げ時の設定

：H.264に対応したカメラの場合は「H.264」。
MPEG-4に対応したカメラの場合は「MPEG-4」。
それ以外の場合は「M-JPEG」。

メモ

- お使いになるカメラの設定に合わせて設定内容を変更してください。

■解像度（JPEG）

解像度を選択します。

解像度は、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO ※1：1画および4画の場合、VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。9画および16画の場合、QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。

QVGA：QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

QVGA ／ 320×180

：QVGA（320×240、16:9モード時は320×180）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA：VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA ／ 640×360

：VGA（640×480、16:9モード時は640×360）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA ／ 640×360 ／ 800×600

：VGA（640×480、16:9モード時は640×360、4:3（800×600）モード時は800×600）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

800×600

：800×600の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1280×960 ※2

：1280×960の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1280×960 ／ 1280×720

：1280×960（16:9モード時は1280×720）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1920×1080 ※3

：1920×1080の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

2048×1536 ※4

：2048×1536の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

お買い上げ時の設定

：「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。
それ以外の場合は「- -」。

※1　NP502またはNW502の撮像モードが3メガピクセルの場合は、画面数に関わらず「VGA」の画像を表示します。
また、全方位カメラの撮像モードが3メガピクセルの場合は、画面数に関わらず「2048×1536」の画像を表示します。

※2　NP100＊のスキャンモードがパーシャルの場合、画像サイズが960×720になります。

※3　撮像モードが2メガピクセル「16:9」／3メガピクセル「16:9」／2M ダブルパノラマ「16:9」／2M パノラマ「16:9」の場合以外は、設定とは異なる解像度の画像となるか、エラーとなります。
※4　撮像モードが3メガピクセル「4:3」／3M 魚眼「4:3」の場合以外は、設定とは異なる解像度の画像となるか、エラーとなります。

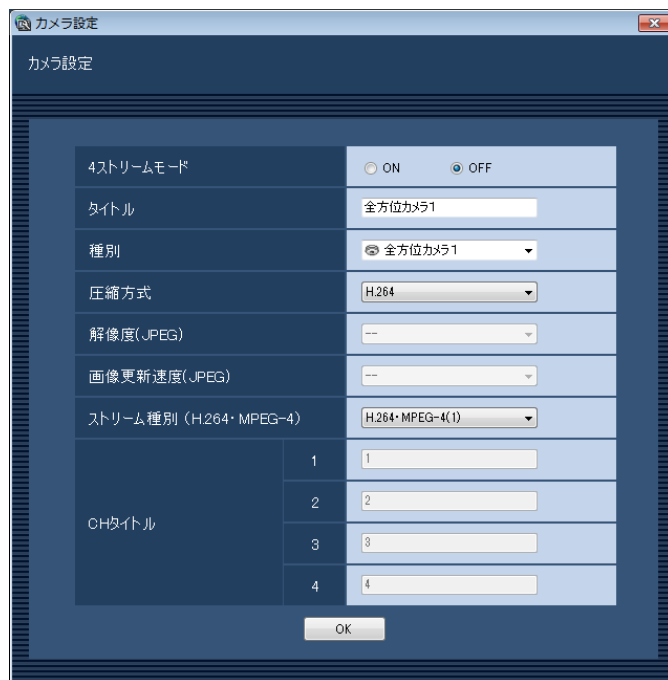
■画像更新速度（JPEG）
カメラから1秒間に受信する最大画像更新速度を以下から選択します。画像更新速度は「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。
AUTO ／ 0.1 ips ／ 0.2 ips ／ 0.3 ips ／ 0.5 ips ／ 1 ips ／ 2 ips ／ 3 ips ／ 5 ips ／ 10 ips ／ 15 ips ／ ALL
「AUTO」を選択すると、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度に従い適切な値を設定します。
「ALL」を選択すると30 ipsで設定します。
お買い上げ時の設定
：「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。

メモ
- 「0.1 ips」「0.2 ips」「0.3 ips」「0.5 ips」はカメラの品番によっては選択できません。
- ネットワークの環境、カメラ側の設定、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した画像更新速度より更新間隔が遅くなることがあります。
- パフォーマンス画面の設定については、「最大画像更新速度を設定する［パフォーマンス］」（☞24ページ）をお読みください。

■ストリーム種別（H.264・MPEG-4）
ストリーム種別を選択します。
H.264に対応したカメラで、「圧縮方式」を「H.264」もしくは「MPEG-4」にしないと選択できません。
AUTO　：1画の場合、H.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。4画、9画および16画の場合、H.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。
H.264・MPEG-4（1）
：常にH.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。
H.264・MPEG-4（2）
：常にH.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。
お買い上げ時の設定：H.264・MPEG-4（1）

メモ
- 「H.264・MPEG-4（1）」と「H.264・MPEG-4（2）」の各ストリームの設定については、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
- 「AUTO」を選択する場合、「H.264・MPEG-4（1）」は1画面用の配信設定、「H.264・MPEG-4（2）」は多画面用の配信設定を行うと、ネットワークの使用帯域を軽減し、PCのCPU負荷を下げることができます。

■［OK］ボタン
カメラ設定画面を閉じます。

STEP8-2
［表示...］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■4ストリームモード

4ストリームモードとして使用するかを選択します。
4ストリームモードは魚眼画像の４か所の画像を歪み補正した4つの4：3の画像を各ストリーム番号に割り当てて、H.264画像を表示する機能です。本モードをご使用になる場合は、お使いになるカメラの撮像モードを「VGA 4ストリーム」と設定必要があります。

ON　：4ストリームモードを使用します。
OFF ：4ストリームモードを使用しません。

お買い上げ時の設定：OFF

メモ
- 使用するカメラの設定に合わせて設定内容を変更してください。

■タイトル

カメラ名を入力します。カメラ名は16文字以内で入力します。
半角記号の！＄％’＜＝＞＠［￥］＾＿`｛¦｝~は使用できません。
お買い上げ時の設定：1

■種別

カメラの種別と種別に該当するアイコンを表示します。
ドーム型カメラ1、ドーム型カメラ2、ドーム型カメラ3、ドーム型カメラ4、ドーム型カメラ5、ドーム型カメラ6、ドーム型カメラ7、ドーム型カメラ8、ドーム型カメラ9、ドーム型カメラ10、固定カメラ1、固定カメラ2、固定カメラ3、固定カメラ4、全方位カメラ1、全方位カメラ2の16種類あります。
お買い上げ時の設定
：カメラの品番によって異なります。

■圧縮方式

圧縮方式を選択します。
圧縮方式は、「4ストリームモード」を「OFF」にしないと選択できません。

M-JPEG ：ライブ画像をM-JPEGで見ることができます。
H.264 ：ライブ画像をH.264で見ることができます。

お買い上げ時の設定
：H.264に対応したカメラの場合は「H.264」。

メモ
- 使用するカメラの設定に合わせて設定内容を変更してください。

■解像度（JPEG）

解像度を選択します。
解像度は、「4ストリームモード」を「OFF」にしないと選択できません。
また、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO ※1：1画および4画の場合、VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。9画および16画の場合、QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。

QVGA ／ 320×180
：QVGA（320×240、16:9モード時は320×180）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA ／ 640×360
：VGA（640×480、16:9モード時は640×360）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1280×960 ／ 1280×720
：1280×960（16:9モード時は1280×720）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1920×1080 ※2
：1920×1080の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

2048×1536 ※3
：2048×1536の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

お買い上げ時の設定
：「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。
それ以外の場合は「- -」。

※1　撮像モードが3M魚眼［4:3］の場合は、画面数に関わらず「2048×1536」の画像を表示します。
※2　撮像モードが2Mダブルパノラマ「16:9」／ 2Mパノラマ「16:9」の場合以外は、設定とは異なる解像度の画像となるか、エラーとなります。
※3　撮像モードが3M魚眼［4:3］の場合以外は、エラー表示をします。

機器管理に関する設定（つづき）

■画像更新速度（JPEG）

カメラから1秒間に受信する最大画像更新速度を以下から選択します。画像更新速度は「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO ／ 0.1 ips ／ 0.2 ips ／ 0.3 ips ／
0.5 ips ／ 1 ips ／ 2 ips ／ 3 ips ／ 5 ips ／
10 ips ／ 15 ips ／ ALL

「AUTO」を選択すると、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度に従い適切な値を設定します。

「ALL」を選択すると30 ipsで設定します。

お買い上げ時の設定
：「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。
それ以外の場合は「- -」。

メモ

- ネットワークの環境、カメラ側の設定、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した画像更新速度より更新間隔が遅くなることがあります。
- パフォーマンス画面の設定については、「最大画像更新速度を設定する［パフォーマンス］」（☞24ページ）をお読みください。

■ストリーム種別（H.264・MPEG-4）

ストリーム種別を選択します。

「圧縮方式」を「H.264」にしないと選択できません。

AUTO　：1画の場合、H.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。4画、9画および16画の場合、H.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。

H.264・MPEG-4（1）
：常にH.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。

H.264・MPEG-4（2）
：常にH.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。

お買い上げ時の設定：H.264・MPEG-4（1）

メモ

- 「H.264・MPEG-4（1）」と「H.264・MPEG-4（2）」の各ストリームの設定については、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
- 「AUTO」を選択する場合、「H.264・MPEG-4（1）」は1画面用の配信設定、「H.264・MPEG-4（2）」は多画面用の配信設定を行うと、ネットワークの使用帯域を軽減し、PCのCPU負荷を下げることができます。

■CHタイトル

カメラのチャンネル名を入力します。

CHタイトルは、「4ストリームモード」を「ON」にしないと変更できません。

チャンネル名は16文字以内で入力します。半角記号の！＄％’＜＝＞＠［￥］＾＿｀｛￤｝￣は使用できません。

お買い上げ時の設定：チャンネル番号

■［OK］ボタン

カメラ設定画面を閉じます。

STEP9

情報を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

→カメラ設定画面が閉じます。

メモ

- ［OK］ボタンをクリックしてカメラ設定画面を閉じても、設定は保存されません。カメラ設定画面を閉じた後、機器登録画面で［設定保存］ボタンをクリックしてください。

STEP10

［設定保存］ボタンをクリックします。

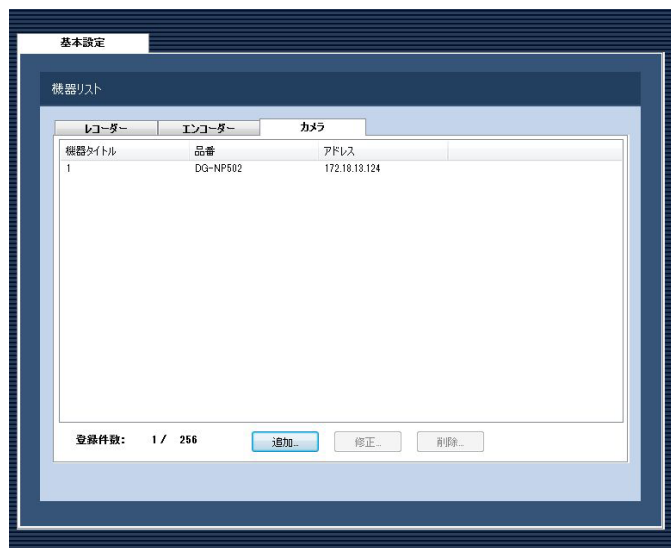
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。機器リストにカメラが追加されます。

カメラを修正する［基本設定］

STEP1

カメラの機器リスト画面を表示します。（☞41ページ）

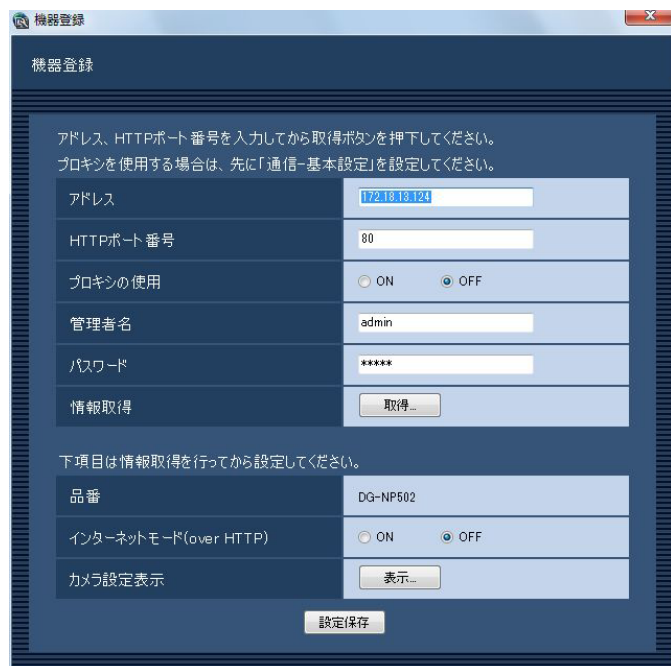
STEP2

機器リストから修正するカメラを選択し、［修正...］ボタンをクリックします。

→機器登録画面が表示されます。

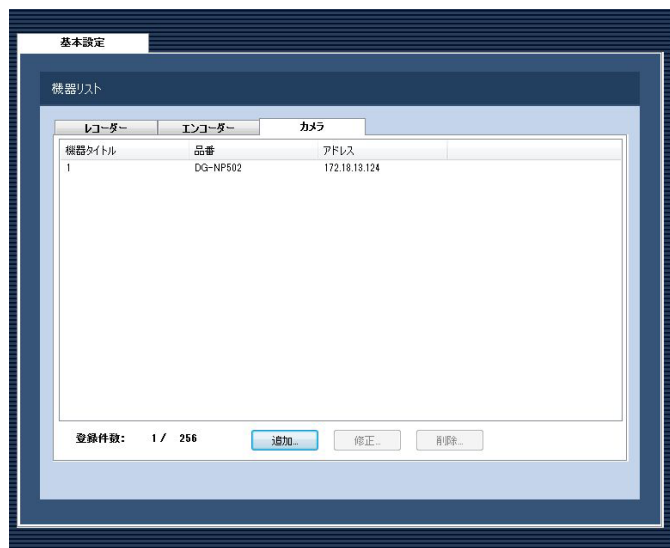
STEP3

情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。

各項目については「カメラを追加する［基本設定］」（☞41ページ）をお読みください。

→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。

カメラを削除する［基本設定］

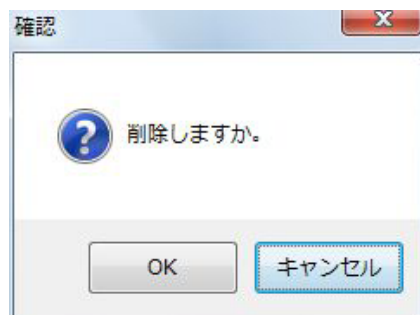
STEP1

カメラの機器リスト画面を表示します。(☞41ページ)

STEP2

機器リストから削除するカメラを選択します。

STEP3

［削除...］ボタンをクリックします。

→削除確認画面が表示されます。

STEP4

［OK］ボタンをクリックします。

→機器情報が削除されます。

管理者に関する設定

管理者情報の設定を行います。

管理者情報を設定する［管理者設定］

［ユーザー管理］ボタンをクリックし、［管理者設定］タブをクリックして、管理者設定画面を表示します。
ここでは、管理者の名称、パスワード、スタートモニターを設定します。

■管理者名
管理者名を入力します。管理者名は半角英数字4文字以上14文字以内で入力します。
管理者名は重複できません。
お買い上げ時の設定：ADMIN

■パスワード
パスワードを入力します。パスワードは半角英数字4文字以上8文字以内で入力します。
お買い上げ時の設定：12345

重要
- パスワードは、セキュリティを確保するため、定期的に変更してください。

■レベル
ユーザーレベルを表示します。管理者は変更できません。「管理者」と表示されます。

■表示可能カメラ
管理者は登録されているすべてのカメラが表示でき、「全カメラ表示」と表示されます。
管理者は変更できません。

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

カメラに関する設定

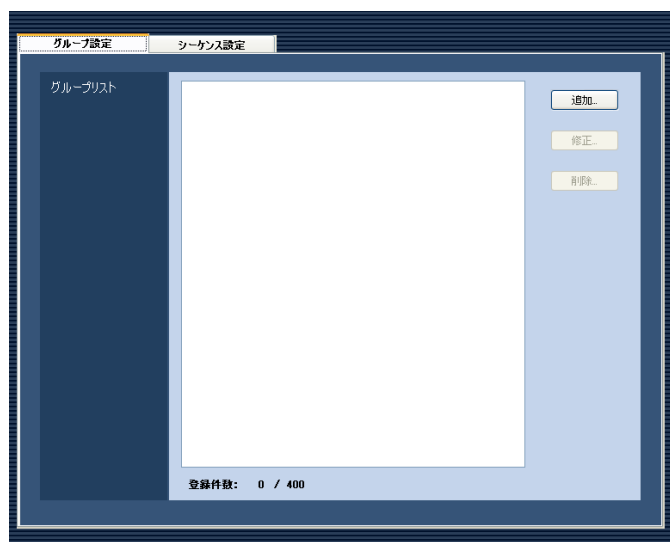
カメラのグループとシーケンス動作に関する設定を行います。

グループを設定する［グループ設定］

表示できる画面数とよく使用するカメラを組み合わせて、１つのグループとして登録できます。1つのグループには最大16台のカメラを登録できます。グループは400件まで登録できます。

グループを追加する

STEP1

［カメラ］ボタンをクリックします。

画面の説明は以下のとおりです。

■グループリスト
登録されたグループを一覧表示します。

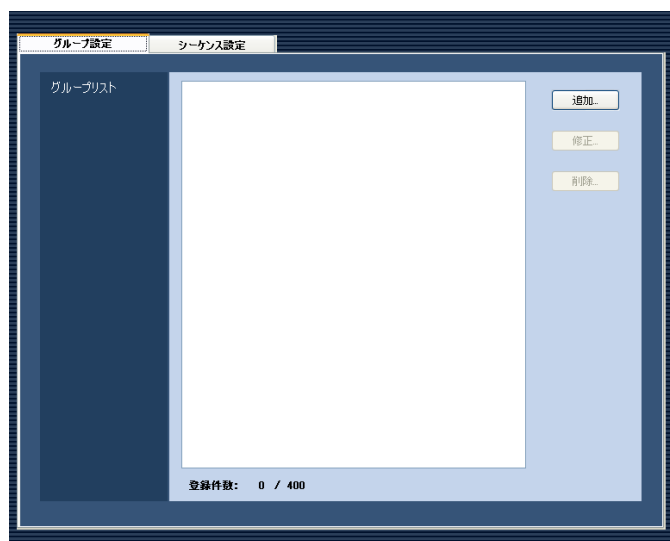
■［追加...］ボタン
グループ登録画面を表示します。

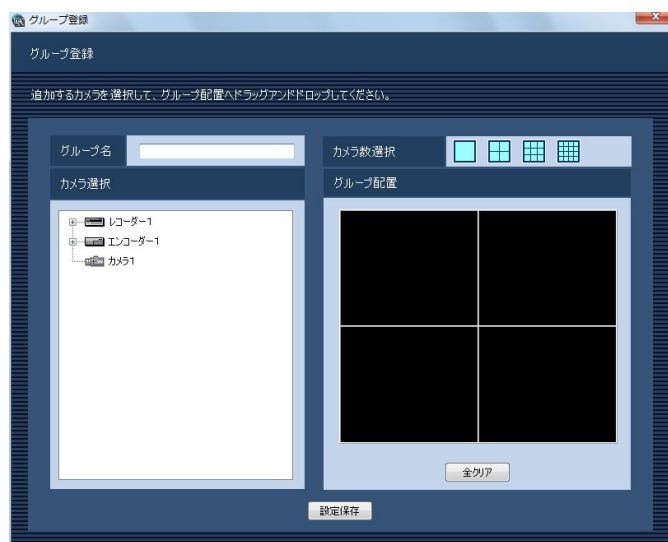
■［修正...］ボタン
グループリストで選択されたグループのグループ登録画面を表示します。

■［削除...］ボタン
グループリストで選択されたグループを削除します。

■登録件数
登録されたグループの件数を表示します。

STEP2

［グループ設定］タブをクリックします。
→グループ設定画面が表示されます。

STEP3

［追加...］ボタンをクリックします。
→グループ登録画面が表示されます。

メモ

- すでに400件登録済みの場合は、［追加...］ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■グループ名

グループ名を入力します。グループ名は16文字以内で入力します。半角記号の！＄％’＜＝＞＠［￥］＾＿｀｛¦｝˜は使用できません。グループ名は重複できません。

■カメラ選択

登録されている機器の一覧をツリーで表示します。

■カメラ数選択

「グループ配置」に表示するカメラ数をアイコンから選択します。
カメラ数選択に表示されるアイコンは以下のとおりです。

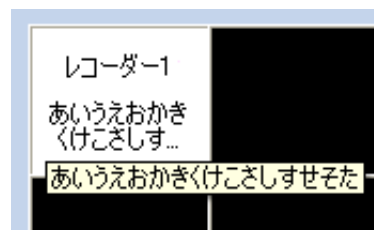
アイコン表示	内容
	1画表示します。
	4画表示します。
	6画表示します。
	9画表示します。
	16画表示します。

お買い上げ時の設定：4画

■グループ配置

グループに登録するカメラを表示します。「カメラ選択」からレコーダーアイコン、エンコーダーアイコン、カメラアイコンのいずれかをドラッグ＆ドロップしてカメラを配置します。カメラが登録されると、機器名とカメラ名が表示されます。

メモ

- レコーダー、エンコーダーまたは4ストリームモードに設定した全方位カメラをドラッグ＆ドロップした場合、1CHから順に表示します。
- グループ配置エリアに機器名とカメラ名の文字が表示しきれない場合、マウスカーソルを「グループ配置」のエリアに合わせると、自動的にチップヘルプで情報を表示します。
  例）あいうえおかきくけこさしす...⇒
  あいうえおかきくけこさしすせそた

- レコーダーに登録されていないカメラの場合、グループ配置エリアの機器名には「--」が表示されます。
- グループ配置エリアを右クリックすると「クリア」メニューが表示されます。「クリア」メニューを選び、そのエリアの設定をクリアすることができます。

■［全クリア］ボタン

「グループ配置」の設定をクリアします。

■［設定保存］ボタン

設定された内容を保存します。

STEP4

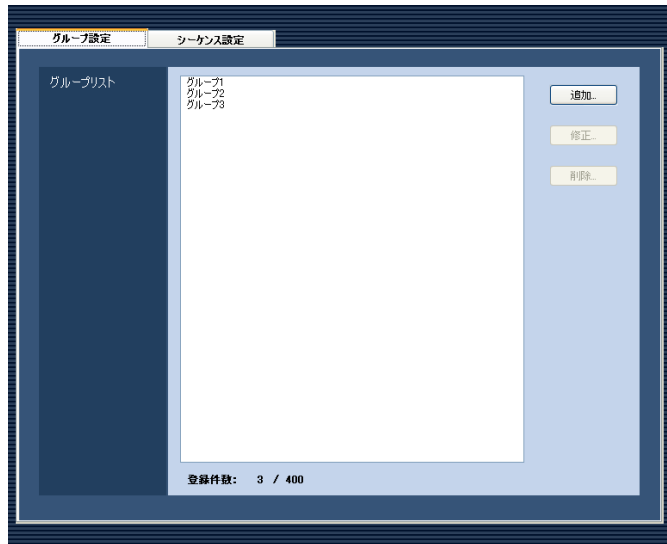
情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。
→設定が保存され、グループ登録画面が閉じます。グループリストにグループが追加されます。

重要

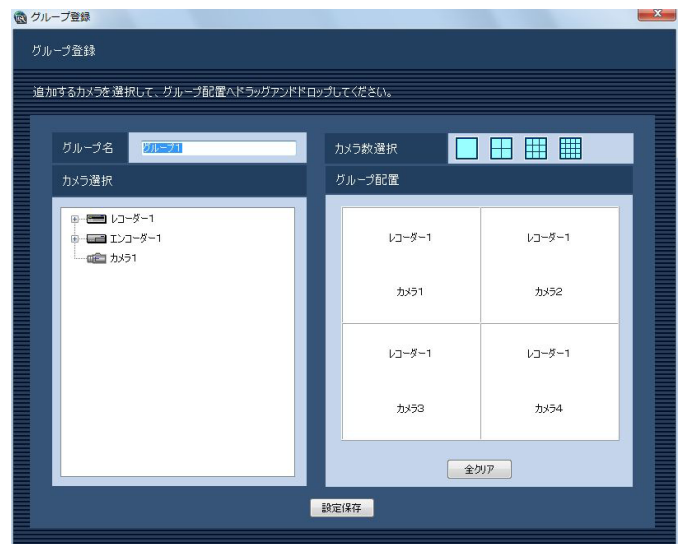
- 1つのグループに同一カメラを重複して設定できません。

グループを修正する

STEP1

グループ設定画面を表示します。（☞51ページ）

STEP2

グループリストから修正するグループを選択し、［修正...］ボタンをクリックします。

→グループ登録画面が表示されます。

STEP3

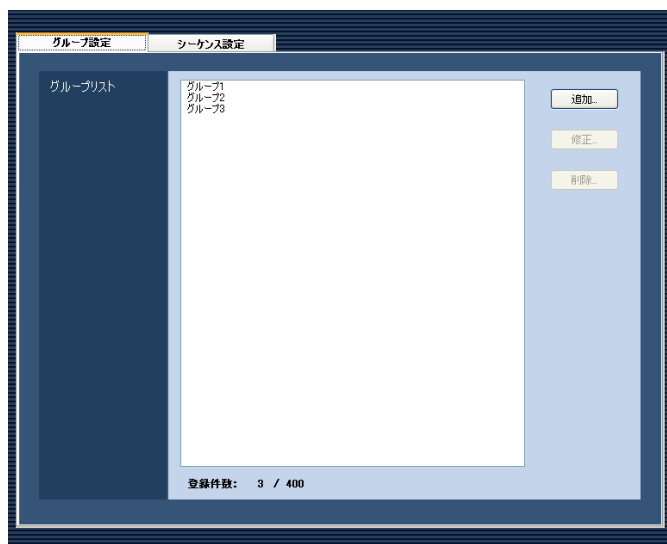
情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。

各項目については「グループを追加する」（☞51ページ）をお読みください。

→設定が保存され、グループ登録画面が閉じます。

グループを削除する

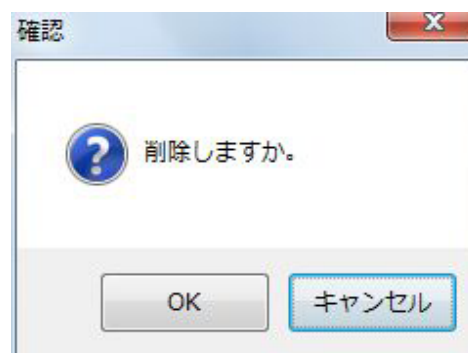
STEP1

グループ設定画面を表示します。（☞51ページ）

STEP2

グループリストから削除するグループを選択します。

STEP3

［削除...］ボタンをクリックします。

→削除確認画面が表示されます。

STEP4

［OK］ボタンをクリックします。
→グループ情報が削除されます。

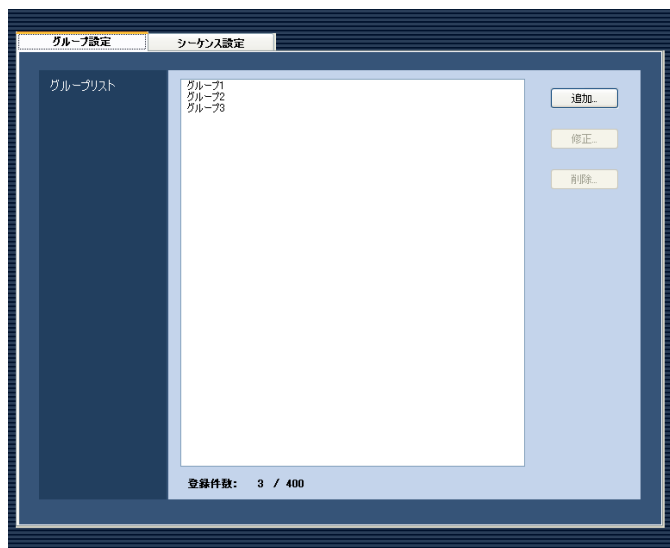
メモ
●スタートモニターとして設定されているグループを削除した場合、管理者設定画面、ユーザー登録画面、ライブモニター画面のスタートモニターには、「- -」と表示されます。運用ソフトウェア画面では、黒画表示されます。

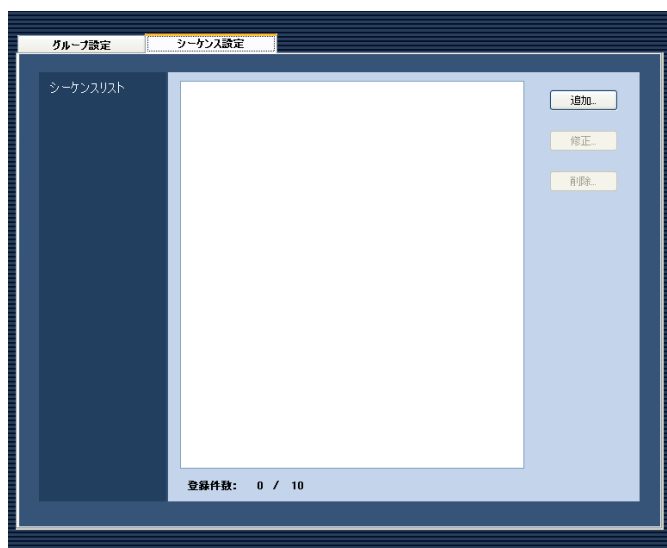
シーケンスを設定する［シーケンス設定］

グループを1つのシーケンスに登録できます。1つのシーケンスには最大64グループを登録できます。シーケンスは10件まで登録できます。

シーケンスを追加する

STEP1

［カメラ］ボタンをクリックします。

STEP2

［シーケンス設定］タブをクリックします。
→シーケンス設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■シーケンスリスト
登録されたシーケンスを一覧表示します。

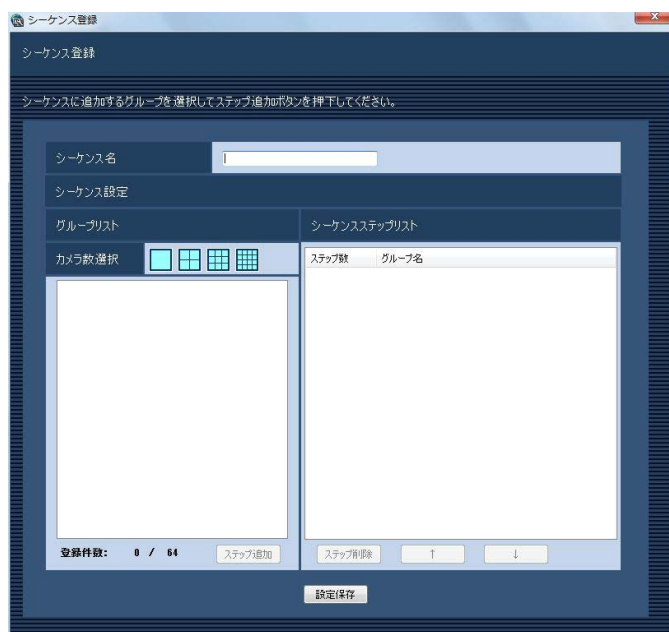
■［追加...］ボタン
シーケンス登録画面を表示します。

■［修正...］ボタン
シーケンスリストで選択されたシーケンスのシーケンス登録画面を表示します。

■［削除...］ボタン
シーケンスリストで選択されたシーケンスを削除します。

■登録件数
登録されたシーケンスの件数を表示します。

STEP3

［追加...］ボタンをクリックします。
→シーケンス登録画面が表示されます。

メモ
- すでに10件登録済みの場合は、［追加...］ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■シーケンス名
シーケンス名を入力します。シーケンス名は16文字以内で入力します。半角記号の ! $ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { ¦ } ~は使用できません。
シーケンス名は重複できません。

■グループリスト
シーケンスに登録できるグループの一覧を表示します。

■カメラ数選択
グループリストに表示するグループのカメラ数を選択します。
- 1画　：1画のグループを表示します。
- 4画　：4画のグループを表示します。
- 9画　：9画のグループを表示します。
- 16画：16画のグループを表示します。

お買い上げ時の設定：1画

■登録件数
「シーケンスステップリスト」に登録されているグループの件数を表示します。

■［ステップ追加］ボタン
「グループリスト」で選択したグループを「シーケンスステップリスト」に追加します。

メモ
- 同一シーケンスで同一グループを重複設定できます。
- すでに64件登録済みの場合、［ステップ追加］ボタンをクリックできません。

■シーケンスステップリスト
登録されているグループ一覧を表示します。

■［ステップ削除］ボタン
「シーケンスステップリスト」で選択したグループをシーケンスリストから削除します。

■［↑］ボタン
「シーケンスステップリスト」で選択したグループのステップを1つ上に移動します。

■［↓］ボタン
「シーケンスステップリスト」で選択したグループのステップを1つ下に移動します。

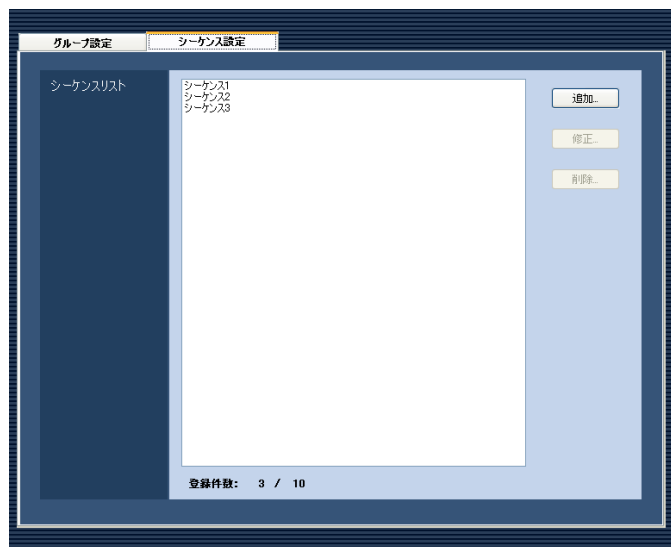
■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

STEP4

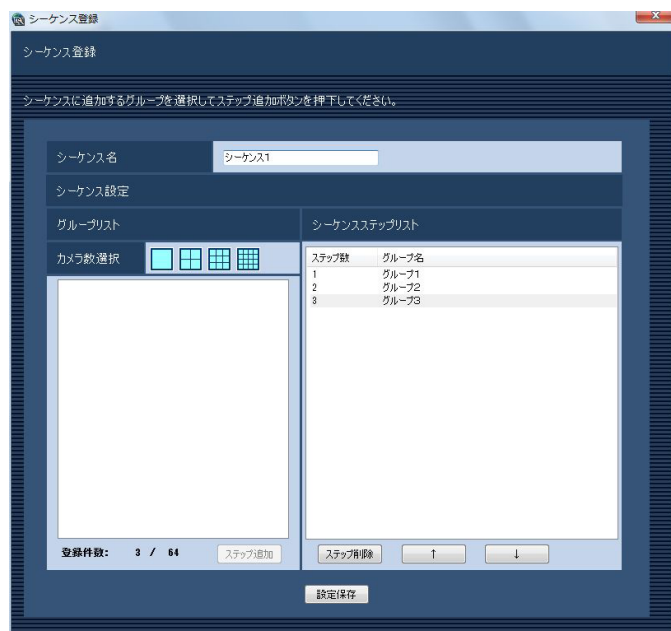
情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。
→設定が保存され、シーケンス登録画面が閉じます。
シーケンスリストにシーケンスが追加されます。

シーケンスを修正する

STEP1

シーケンス設定画面を表示します。（☞54ページ）

STEP2

シーケンスリストから修正するシーケンスを選択し、［修正...］ボタンをクリックします。

→シーケンス登録画面が表示されます。

STEP3

情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。

各項目については「シーケンスを追加する」（☞54ページ）をお読みください。

→設定が保存され、シーケンス登録画面が閉じます。

シーケンスを削除する

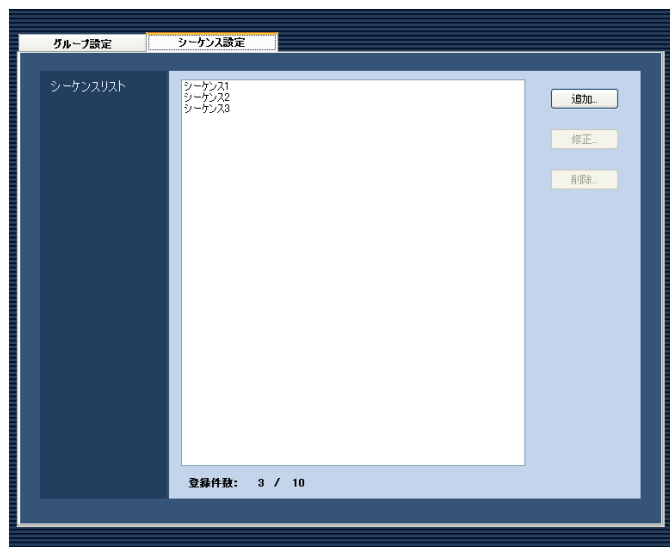
STEP1

シーケンス設定画面を表示します。（☞54ページ）

STEP2

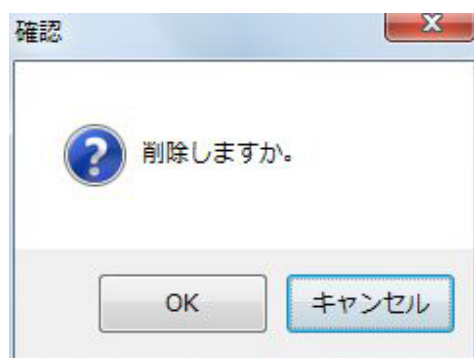
シーケンスリストから削除するシーケンスを選択します。

STEP3

［削除...］ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。

STEP4

［OK］ボタンをクリックします。
→シーケンス情報が削除されます。

メモ

●スタートモニターとして設定されているシーケンスを削除した場合、管理者設定画面、ユーザー登録画面、ライブモニター画面のスタートモニターには、「- -」と表示されます。運用ソフトウェア画面では、黒画表示されます。

モニターに関する設定

ライブモニターに関する設定を行います。

ライブモニターを設定する［ライブモニター］

［モニター］ボタンをクリックし、［ライブモニター］タブをクリックして、ライブモニター画面を表示します。

■スタートモニター
ライブモニター表示直後にライブモニターに表示するライブ画像の表示種別を選択します。
　グループ　　：グループで表示します。
　シーケンス　：シーケンスで表示します。
お買い上げ時の設定：グループ

＜「グループ」を選択した場合＞
グループ設定画面（☞51ページ）で登録したグループから選択できます。グループが未登録の場合、「- -」のみ表示されます。ライブモニターでは黒画表示されます。
グループの登録方法については、「グループを設定する［グループ設定］」（☞51ページ）をお読みください。
お買い上げ時の設定：- -

＜「シーケンス」を選択した場合＞
シーケンス設定画面（☞54ページ）で登録したシーケンスから選択できます。シーケンスが未登録の場合、「- -」のみ表示されます。ライブモニターでは、黒画表示されます。
シーケンスの登録方法については、「シーケンスを設定する［シーケンス設定］」（☞54ページ）をお読みください。
お買い上げ時の設定：- -

■シーケンス間隔
シーケンス間隔を以下から選択します。本設定は「スタートモニター」を「シーケンス」にしないと選択できません。
　3秒／5秒／10秒／15秒／20秒／25秒／30秒／35秒／40秒／45秒／50秒／55秒／1分
お買い上げ時の設定：3秒

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

イベント動作に関する設定

障害発生時の動作について設定します。

障害発生時の動作を設定する［障害設定］

ネットワーク障害発生時の動作について設定します。障害発生時の動作として、メッセージを表示する、障害発生音を鳴らす、の2つがあります。
障害設定は、［イベント動作］ボタンをクリックし、［障害設定］タブをクリックして、障害設定画面を表示して行います。

■障害表示
障害発生時、障害メッセージを表示するかどうかを選択します。
　ON　：メッセージを表示します。
　OFF ：メッセージを表示しません。
お買い上げ時の設定：ON

■ブザー音
障害発生時、障害発生音を鳴らすかどうかを選択します。
　OFF ：障害発生音を鳴らしません。
　1回　：障害発生音を1回鳴らします。
お買い上げ時の設定：1回

メモ
- ブザー音の出力時間は設定できません。

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

通信に関する設定

本ソフトウェアの通信関連を設定します。

通信環境を設定する［基本設定］

［通信］ボタンをクリックし、［基本設定］タブをクリックして、基本設定画面を表示します。
ここでは、プロキシやFTP通信関連を設定します。

■プロキシのアドレス
プロキシのアドレスを入力します。半角英数字255文字以内で入力します。

■プロキシのポート番号
プロキシのポート番号を入力します。入力可能な範囲は1～65535です。

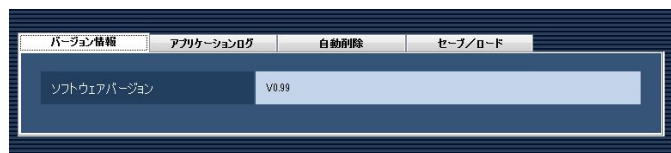
■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

メモ
- 機器登録画面の「プロキシの使用」項目を「ON」にしても、本画面で「プロキシのアドレス」と「プロキシのポート番号」を入力しないと通信できません。
- プロキシ機能を利用する場合は、HTTPプロキシサーバーをご使用ください。なお、ダウンロード機能はレコーダーのFTP機能を使用していますが、HTTPプロキシサーバー経由で使用できます。

メンテナンスに関する設定

アプリケーションログの表示／保存と、設定ソフトウェアの設定内容のセーブ／ロード／初期化について説明します。

バージョン情報を表示する［バージョン情報］

［メンテナンス］ボタンをクリックし、［バージョン情報］タブをクリックして、バージョン情報画面を表示します。

■ソフトウェアバージョン
本ソフトウェアのバージョンを表示します。

アプリケーションログを表示／保存する
[アプリケーションログ]

本ソフトウェアで記録されたアプリケーションログを条件を絞り込んで検索し表示／保存できます。ログ種別によって、表示される項目は異なります。ログを表示するログリスト画面の説明と、記録される主なログ内容については「アプリケーションログリストの説明」（☞64ページ）をお読みください。表示できるログ種別と記録する内容は以下のとおりです。

ネットワーク障害ログ　：本ソフトウェアと機器とのネットワーク障害履歴
システムログ　：本ソフトウェアのシステム情報履歴
操作ログ　：本ソフトウェアの操作履歴

メモ

- アプリケーションログは最大登録件数までログを記録します。最大登録件数を超えると、古い日時のログから削除します。ソフトウェアで記録するログの最大登録件数については「アプリケーションログリストの説明」（☞64ページ）をお読みください。

アプリケーションログを表示する

各種のログを表示するには、ログ種別を選択して表示します。

STEP1

［メンテナンス］ボタンをクリックします。

STEP2

［アプリケーションログ］タブをクリックします。
→アプリケーションログ画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■ログ種別

表示するログ種別を以下から選択します。
　ネットワーク障害ログ／システムログ／操作ログ

■期間指定

検索条件として期間を指定するかどうかを選択します。
　する　：指定します。
　しない：指定しません。
お買い上げ時の設定：しない

■開始日時

参照する期間の開始日時を選択します。

■終了日時

参照する期間の終了日時を選択します。

■［表示］ボタン

選択期間内のログを検索し、ログリストに検索結果を表示します。

■［一括...］ボタン

「ログ種別」で選択したログのすべてのログを、CSV形式で保存します。

■［期間指定...］ボタン

「ログ種別」で選択したログの「開始日時」～「終了日時」で指定した期間分のログをCSV形式で保存します。

■［リスト...］ボタン

ログリストに表示されているログを、CSV形式で保存します。

■ログリスト

ログの内容を表示します。ログリストは1000件まで表示できます。

メモ

● ログ種別によって、リストに表示される内容が異なります。詳しくは、「アプリケーションログリストの説明」(☞64ページ)をお読みください。

■検索該当件数

検索条件に該当するログ件数を表示します。

■リスト件数

現在、「ログリスト」に表示されているログの件数を表示します。

STEP3

アプリケーションログの参照期間を選択し、［表示］ボタンをクリックします。
→ログリストが表示されます。

アプリケーションログを保存する

ログリストに表示されたログは任意のディレクトリにCSV形式で保存できます。保存方法は以下のとおりです。

一括保存　　　：すべて保存します。
期間指定保存　：指定した期間内分保存します。
リスト保存　　：ログリストに表示されたログを保存します。

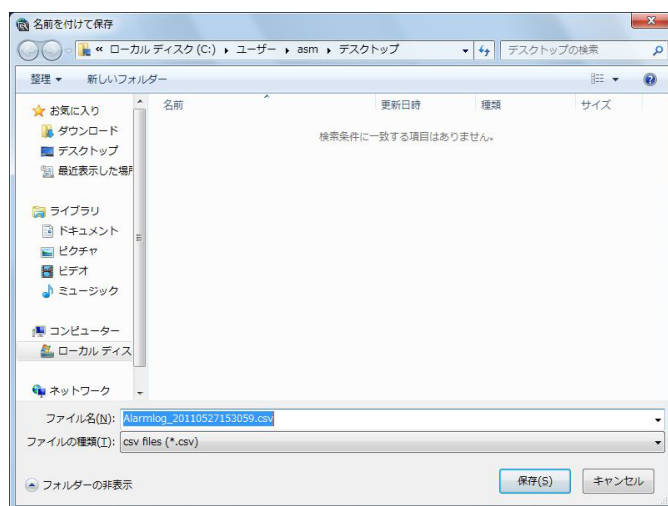
STEP1

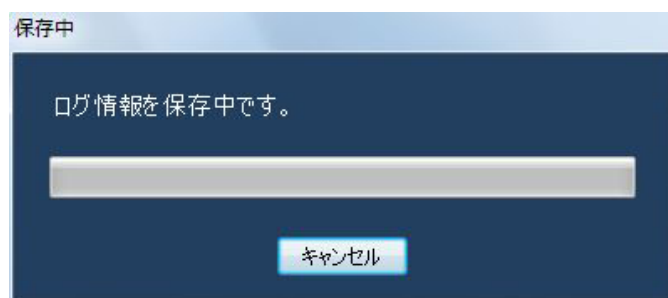
アプリケーションログ画面を表示します。

STEP2

アプリケーションログの参照期間を選択し、［表示］ボタンをクリックします。各項目については「アプリケーションログを表示する」（☞61ページ）をお読みください。
→ログリストが表示されます。

STEP3

［一括...］ボタン、［期間指定...］ボタン、［リスト...］ボタンから、対象となる保存方法のボタンをクリックします。
→名前を付けて保存画面が表示されます。

STEP4

保存先を指定して、［保存(S)］ボタンをクリックします。
→アプリケーションログ情報保存中画面が表示されます。

保存が終了すると、自動的にアプリケーションログ情報保存中画面を閉じ、アプリケーションログ画面に戻ります。

メモ

- ログを保存するとき、保存対象のログが10000件を超えている場合、ファイルを分割して保存します。

アプリケーションログリストの説明

ネットワーク障害ログ

ネットワーク障害ログはネットワーク障害発生時の状況を記録するものです。最大登録件数は1000件、最大表示件数は1000件です。

■日時

ネットワーク障害の発生日時を表示します。

■内容

ネットワーク障害内容を表示します。

■レコーダー／エンコーダー

ネットワーク障害が発生した機器名を表示します。

メモ

- ネットワーク障害が発生した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■カメラ

ネットワーク障害が発生したカメラ名を表示します。

記録される主なネットワーク障害ログの内容は以下のとおりです。

ログ内容	説明
レコーダー接続復帰	レコーダーとの接続が復帰したときに記録します。
レコーダー接続エラー	レコーダーとの接続が失敗したときに記録します。
レコーダー応答異常	レコーダーからの異常を受信したときに記録します。
レコーダーユーザー認証エラー	レコーダーへ接続時、ユーザー認証に失敗したときに記録します。
ユーザー数超過	レコーダーの最大接続数を超えていたため、レコーダーに接続できなかったときに記録します。
ホスト認証エラー	レコーダーへ接続時、ホスト認証に失敗したときに記録します。
エンコーダー接続復帰	エンコーダーとの接続が復帰したときに記録します。
エンコーダー接続エラー	エンコーダーとの接続が失敗したときに記録します。
カメラ接続復帰	カメラとの接続が復帰したときに記録します。
カメラ接続エラー	カメラとの接続が失敗したときに記録します。
カメラ応答異常	エンコーダーまたはカメラからの異常を受信したときに記録します。
カメラユーザー認証エラー	エンコーダーまたはカメラへ接続時､ユーザー認証に失敗したときに記録します。
ポート番号重複エラー	ポート番号が重複した場合に記録します。ユニキャストで各カメラのポート番号をマニュアルで設定する場合は、重複しないように設定してください。ポート番号の設定に関してはお使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

システムログ

システムログはシステムの動作内容を記録するものです。最大登録件数は1000件、最大表示件数は1000件です。

■日時

動作日時を表示します。

■内容

動作内容を表示します。

■ユーザー

操作したユーザー名を表示します。

■レコーダー／エンコーダー

操作した機器名を表示します。

メモ

- 操作した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■カメラ

操作したカメラ名を表示します。

メモ

- アラームが発生した機器が、全方位カメラで「4ストリームモード」設定の場合、カメラ名は「CHタイトル」を表示します。

操作ログ

操作ログはユーザーが操作した内容を記録するものです。最大登録件数は100000件、最大表示件数は1000件です。

■日時

操作日時を表示します。

■ユーザー

操作したユーザー名を表示します。

■画面

操作した画面名を表示します。

■内容

操作内容を表示します。

■レコーダー／エンコーダー

操作した機器名を表示します。

メモ

- 操作した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■カメラ

操作したカメラ名を表示します。

メモ

- 機器障害が発生した機器が、全方位カメラで「4ストリームモード」設定の場合、カメラ名は「CHタイトル」を表示します。

メンテナンスに関する設定（つづき）

記録される主なシステムログは以下のとおりです。

ログ内容	説明
運用ソフト起動	運用ソフトウェアを起動したときに記録します。
運用ソフト終了	運用ソフトウェアを終了したときに記録します。
運用ソフトユーザーログイン	ユーザーが運用ソフトウェアにログインしたときに記録します。
運用ソフトユーザーログアウト	ユーザーが運用ソフトウェアからログアウトしたときに記録します。
非対応機器からの独自アラーム受信	対応していない機器から独自アラームを受信したときに記録します。
未登録機器からの独自アラーム受信	登録していない機器から独自アラームを受信したときに記録します。
独自アラーム受信エラー	レコーダーから独自アラーム受信に失敗したときに記録します。
独自アラーム処理エラー	レコーダーから独自アラーム処理に失敗したときに記録します。
操作ログ自動削除失敗	操作ログの自動削除が実行されなかったときに記録します。
予期せぬエラー発生による運用ソフト再起動	予期せぬエラーが発生し運用ソフトウェアが再起動したときに記録します。
ライブモニター起動	ライブモニターを起動したときに記録します。
ライブモニター終了	ライブモニターを終了したときに記録します。
運用ソフトユーザーログイン失敗	ユーザー情報の読み込みが失敗し、運用ソフトウェアにログインできなかったときに記録します。
独自アラーム受信機能開始失敗	独自アラーム受信処理開始時にエラーが発生したときに記録します。
不正な独自アラーム受信（未対応カテゴリ）	独自アラームのカテゴリが不正なときに記録します。
不正な独自アラーム受信（未対応メッセージ）	独自アラームのメッセージIDが不正なときに記録します。
設定ソフト起動	設定ソフトウェアを起動したときに記録します。
設定ソフト終了	設定ソフトウェアを終了したときに記録します。
設定ソフトユーザーログイン	ユーザーが設定ソフトウェアにログインしたときに記録します。
予期せぬエラー発生による設定ソフト再起動	予期せぬエラーが発生し設定ソフトウェアが再起動したときに記録します。
設定ソフトユーザーログイン失敗	ユーザー情報の読み込みが失敗し、設定ソフトウェアにログインできなかったときに記録します。
予期せぬエラー発生によるライブモニター再起動	予期せぬエラーが発生しライブモニターが再起動したときに記録します。

操作ログを自動削除する［自動削除］

本ソフトウェアで記録される操作ログを自動削除するかどうかを設定します。自動削除を設定する場合は、ログを保存する期間を設定します。設定したログ保存期間を経過すると自動削除します。

重要

●PCが起動していない場合、設定したログ保存期間を経過してもログは削除されません。

メモ

●本ソフトウェアで記録するログの最大登録件数については「アプリケーションログリストの説明」（☞64ページ）をお読みください。

［メンテナンス］ボタンをクリックし、［自動削除］タブをクリックして、自動削除画面を表示します。

■操作ログ自動削除

操作ログを自動削除するかどうかを選択します。

　ON　：自動削除します。

　OFF ：自動削除しません。

お買い上げ時の設定：ON

■操作ログ保存期間

操作ログの保存期間を以下から選択します。本設定は「操作ログ自動削除」を「ON」にしないと選択できません。

　31日／ 92日／ 184日／ 366日

お買い上げ時の設定：92日

■［設定保存］ボタン

設定された内容を保存します。

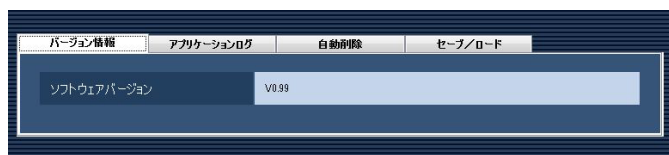
設定データをセーブ／ロード／初期化／ログ初期化する［セーブ／ロード］

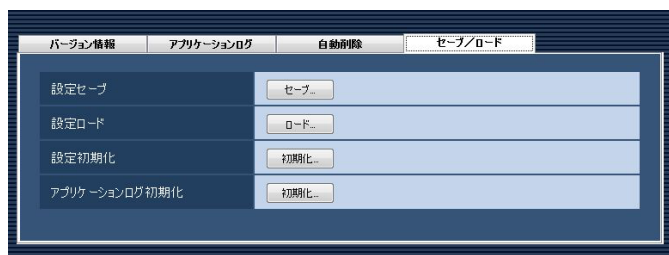
本ソフトウェアに設定したデータをセーブ（保存）、ロード（復元）、設定データ初期化（クリア）、アプリケーションのログを初期化（クリア）します。

セーブする（保存）

重要
- 設定データは、外部ハードディスクやその他のメディアにコピーして、定期的に保存してください。PCのハードディスクが損傷した場合、設定データを復元できない可能性があります。
- 設定データをセーブした場合、すべてのアプリケーションログのセーブも行います。

STEP1

［メンテナンス］ボタンをクリックします。
→バージョン情報画面が表示されます。

STEP2

［セーブ／ロード］タブをクリックします。
→セーブ／ロード画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■［セーブ...］ボタン

名前を付けて保存画面を表示します。

■［ロード...］ボタン

ファイルを開く画面を表示します。

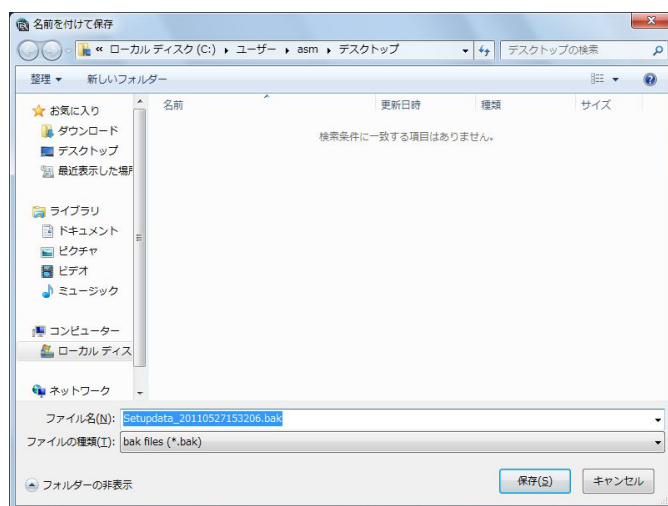
■［初期化...］ボタン

設定データ初期化開始の確認画面を表示します。

■［初期化...］ボタン

アプリケーションログ初期化開始の確認画面を表示します。

STEP3

［セーブ...］ボタンをクリックします。
→名前を付けて保存画面が表示されます。

STEP4

保存先を指定して、［保存(S)］ボタンをクリックします。
→データの保存が開始されます。

STEP5

画面表示を確認し、［OK］ボタンをクリックします。
→セーブ／ロード画面に戻ります。

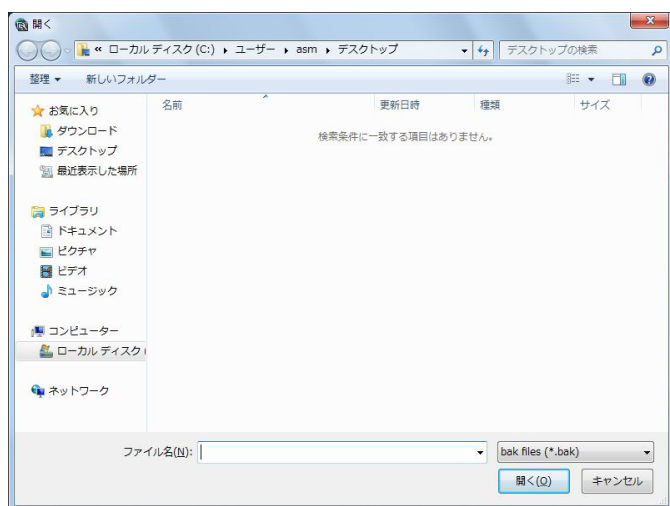
ロードする（復元）

重要
- 設定データをロードすると、設定データがすべて上書きされます。
- 設定データをロードすると、設定ソフトウェアが再起動します。
- 設定データをロードした場合、保存されているすべてのアプリケーションログも上書きロードされます。
  ※保存されているアプリケーションログが古い場合はその時点のログに戻ります。
- Windows 8でセーブした設定データを、Windows Vista、Windows 7ではロードできません。

STEP1

セーブ／ロード画面を表示します。（☞68ページ）

STEP2

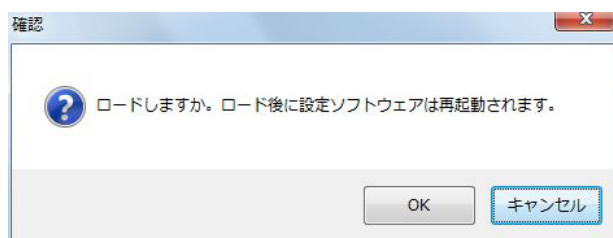
［ロード...］ボタンをクリックします。
→ファイルを開く画面が表示されます。

STEP3

読み込むファイルを選択して、［開く(O)］ボタンをクリックします。
→ロード開始確認画面が表示されます。

STEP4

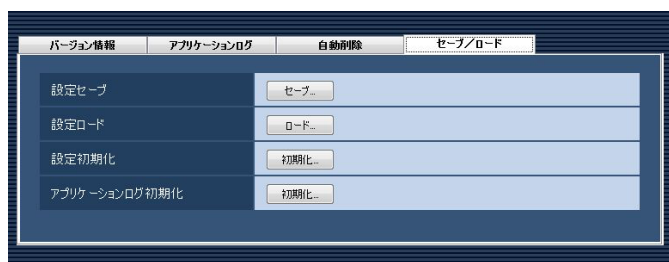
画面表示を確認し、［OK］ボタンをクリックします。
→データの読み込みが開始されます。

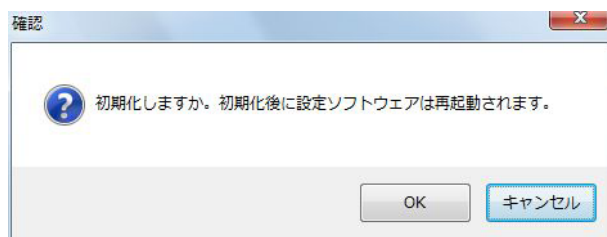
STEP5

画面表示を確認し、［OK］ボタンをクリックします。
→設定ソフトウェアが再起動して、ログイン画面が表示されます。

設定データを初期化する（クリア）

重要
- 設定データを初期化すると、各種設定データがすべて初期化されます。初期化する前に、データをセーブしておくことをおすすめします。
- 設定データを初期化すると、設定ソフトウェアが再起動します。

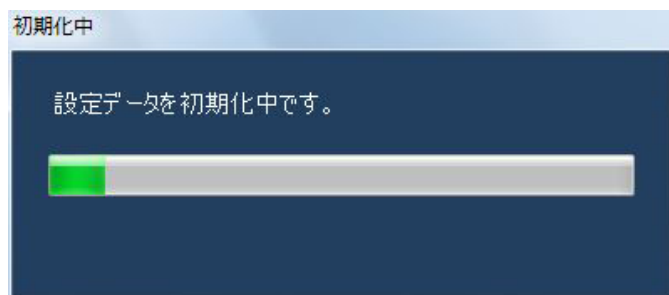
STEP1

セーブ／ロード画面を表示します。（☞68ページ）

STEP2

設定初期化の［初期化...］ボタンをクリックします。

→初期化開始確認画面が表示されます。

STEP3

［OK］ボタンをクリックします。

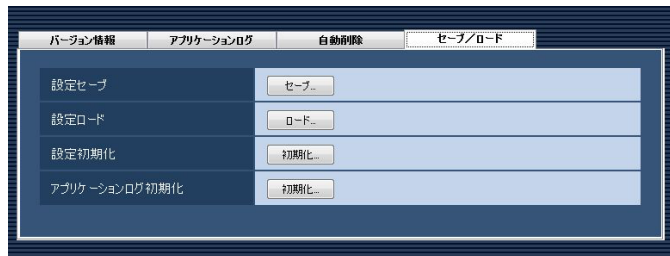
→初期化を開始します。

STEP4

画面表示を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

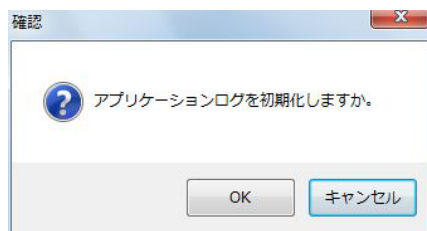
→設定ソフトウェアが再起動して、ログイン画面が表示されます。

アプリケーションログを初期化する（クリア）

STEP1

セーブ／ロード画面を表示します。

STEP2

アプリケーションログ初期化の［初期化...］ボタンをクリックします。

→初期化開始確認画面が表示されます。

STEP3

［OK］ボタンをクリックします。

→初期化が開始されます。

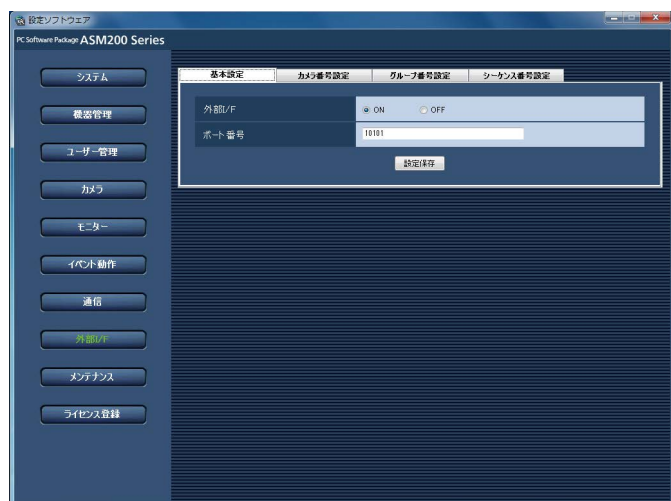
STEP4

画面表示を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

外部インターフェースに関する設定

外部機器から本ソフトウェアの一部の機能を制御する場合、あらかじめ、外部インターフェースの使用のON/OFFやグループ番号の設定、シーケンス番号の設定など、外部インターフェースに関する設定が必要になります。

外部インターフェースを設定する［基本設定］

［外部I/F］ボタンをクリックし、［基本設定］タブをクリックして、基本設定画面を表示します。

■外部I/F
外部インターフェースを使用するかどうかを選択します。
　ON　：外部インターフェースを使用します。
　OFF ：外部インターフェースを使用しません。
お買い上げ時の設定：ON

■ポート番号
ポート番号を入力します。入力可能な範囲は1〜65535です。
お買い上げ時の設定：10101

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

カメラ番号を設定する［カメラ番号設定］

あらかじめ機器登録されているカメラ名※に対してカメラ番号を設定します。
※全方位カメラで「4ストリームモード」設定の場合、カメラ名は「CHタイトル」を表示します。

カメラ番号を手動設定する

STEP1

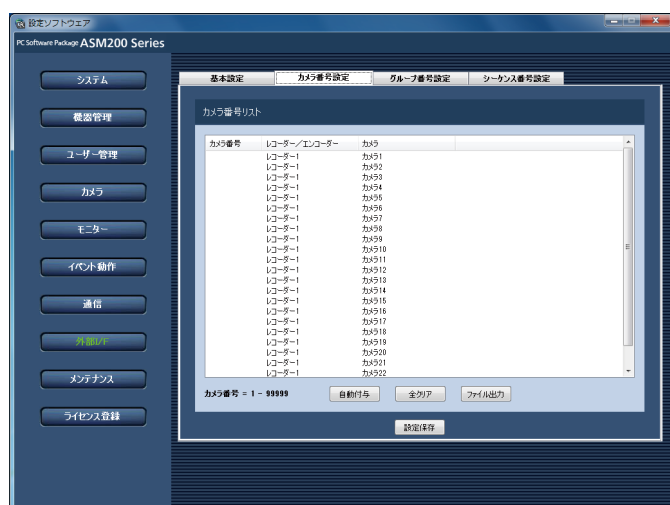
［外部I/F］ボタンをクリックします。

STEP2

［カメラ番号設定］タブをクリックします。
→カメラ番号設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■［自動付与］ボタン

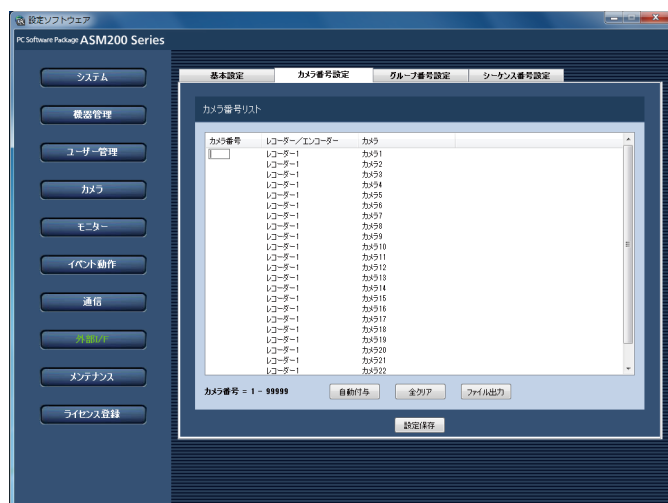
リスト表示されている順にカメラ番号を1から連番で自動付与します。

■［ファイル出力］ボタン

リストに表示されている内容をCSV形式で保存します。

■［設定保存］ボタン

設定された内容を保存します。

STEP3

設定したいカメラ名のリストを選択し、カメラ番号領域をクリックします。
→入力可能な状態になります。

STEP4

設定したいカメラ番号を入力します。
入力可能な範囲は1～99999です。

STEP5

［設定保存］ボタンをクリックします。

外部インターフェースに関する設定（つづき）

カメラ番号を自動設定する

STEP1

カメラ番号設定画面を表示します。（☞73ページ）

STEP2

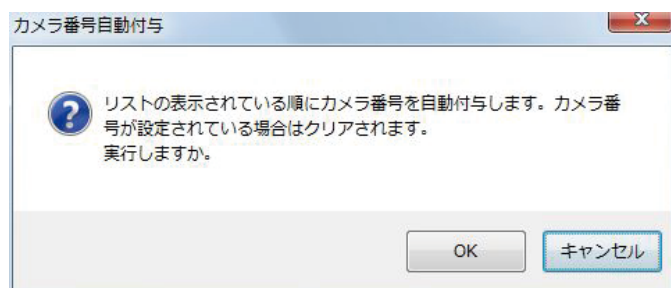
［自動付与］ボタンをクリックします。

→カメラ番号自動付与確認画面が表示されます。

STEP3

［OK］ボタンをクリックします。

→表示しているリスト順にカメラ番号を自動的に付与します。

STEP4

［設定保存］ボタンをクリックします。

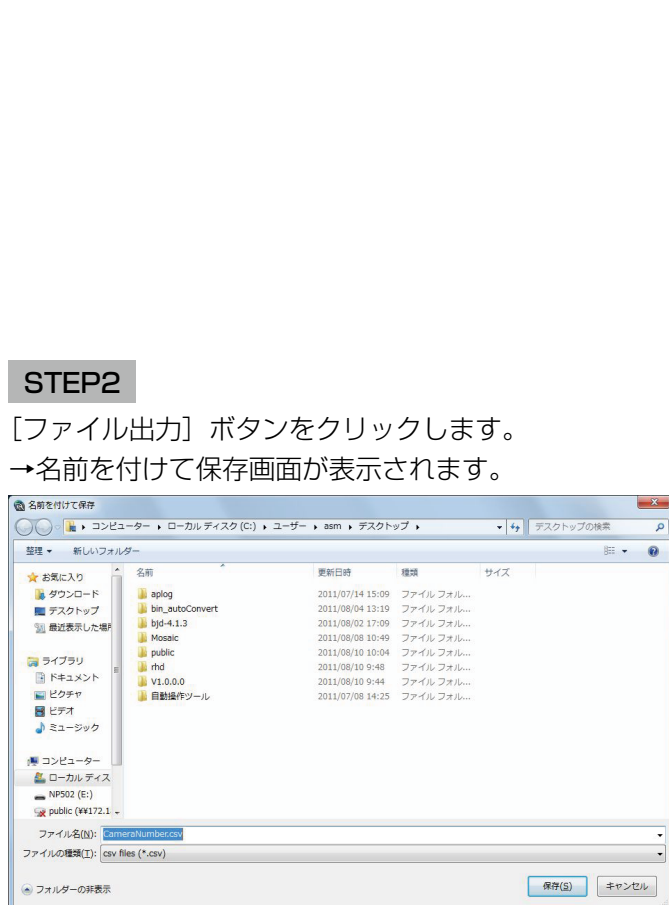
カメラ番号リストをファイル出力する

STEP1

カメラ番号設定画面を表示します。（☞73ページ）

STEP2

［ファイル出力］ボタンをクリックします。

→名前を付けて保存画面が表示されます。

STEP3

保存先とファイル名を入力して、[保存(S)] ボタンをクリックします。
→カメラ番号リストの保存が開始されます。

メモ

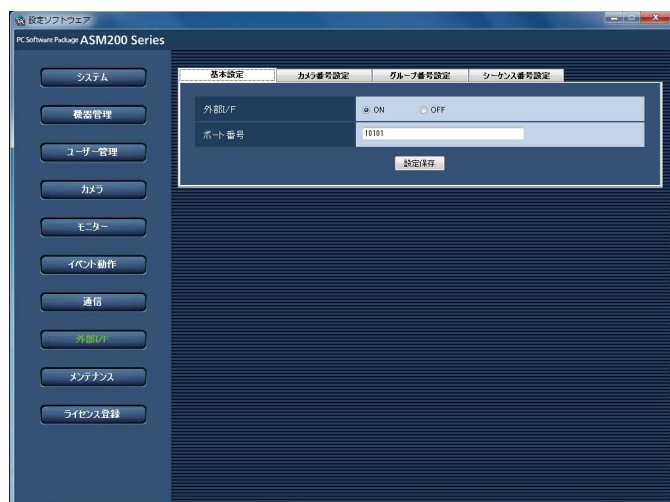
- [保存(S)] ボタンをクリック時にメッセージボックスが表示されることがあります。「表示メッセージと対処方法」(☞87ページ）をお読みになり、正しい操作を行ってください。

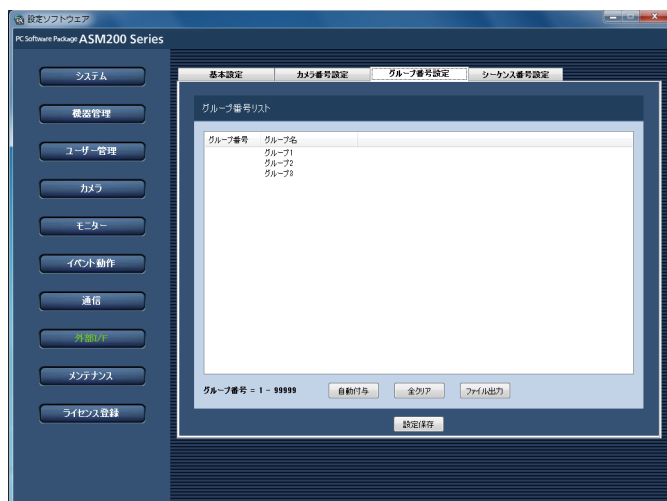
グループ番号を設定する［グループ番号設定]

あらかじめグループ登録されているグループ名に対してグループ番号を設定します。

グループ番号を手動設定する

STEP1

[外部I/F] ボタンをクリックします。

STEP2

[グループ番号設定] タブをクリックします。
→グループ番号設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

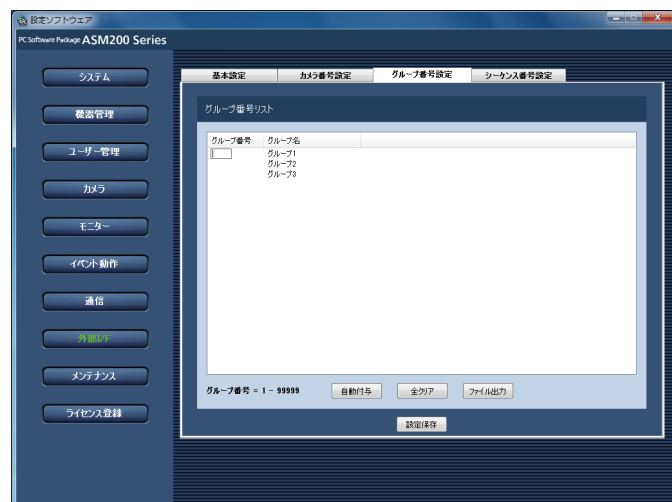
■ [自動付与] ボタン

リスト表示されている順にグループ番号を1から連番で自動付与します。

■ [ファイル出力] ボタン

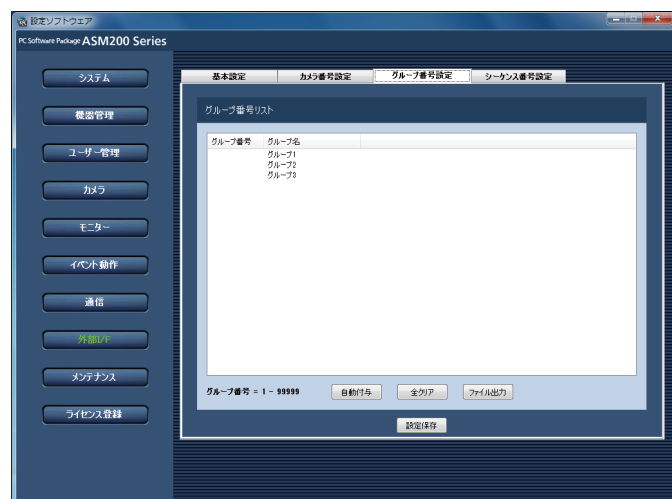
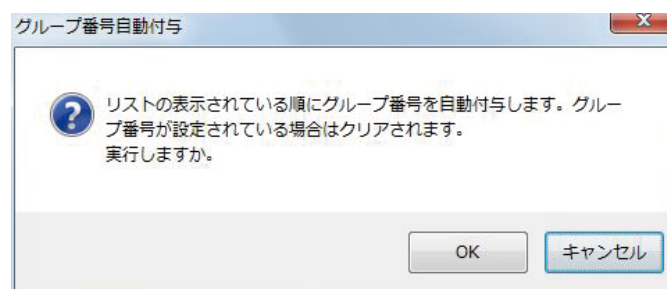
リストに表示されている内容をCSV形式で保存します。

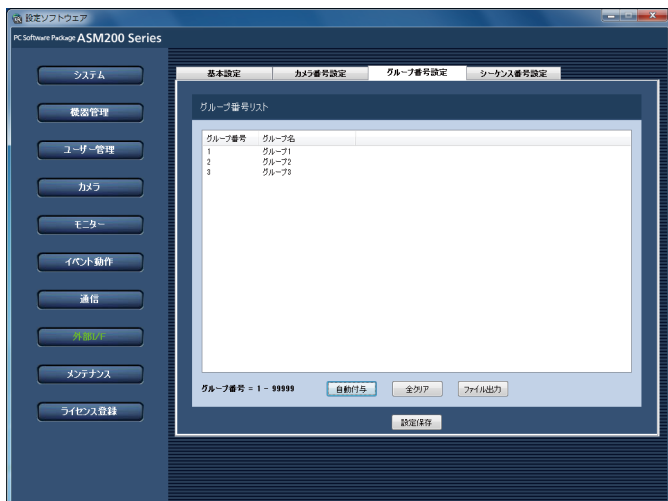
■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

STEP3
設定したいグループ名のリストを選択し、グループ番号領域をクリックします。
→入力可能な状態になります。

STEP4
設定したいグループ番号を入力します。
入力可能な範囲は1～99999です。

STEP5
［設定保存］ボタンをクリックします。

グループ番号を自動設定する

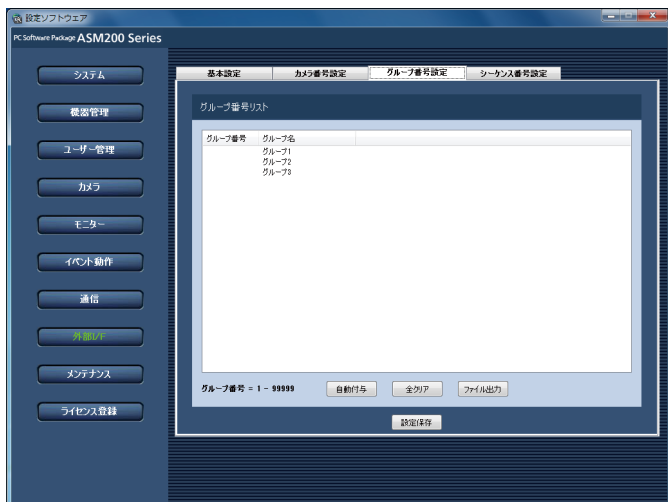
STEP1
グループ番号設定画面を表示します。（☞75ページ）

STEP2
［自動付与］ボタンをクリックします。
→グループ番号自動付与確認画面が表示されます。

STEP3

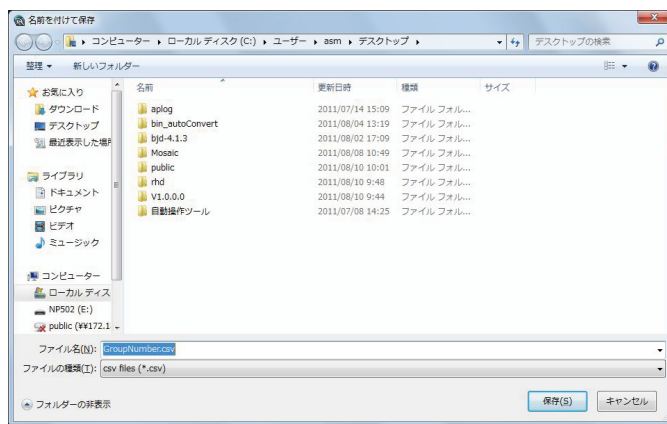
［OK］ボタンをクリックします。
→表示しているリスト順にグループ番号を自動的に付与します。

STEP4

［設定保存］ボタンをクリックします。

グループ番号リストをファイル出力する

STEP1

グループ番号設定画面を表示します。（☞75ページ）

STEP2

［ファイル出力］ボタンをクリックします。
→名前を付けて保存画面が表示されます。

STEP3

保存先とファイル名を入力して、［保存(S)］ボタンをクリックします。
→グループ番号リストの保存が開始されます。

メモ

● ［保存(S)］ボタンをクリック時にメッセージボックスが表示されることがあります。「表示メッセージと対処方法」（☞87ページ）をお読みになり、正しい操作を行ってください。

シーケンス番号を設定する［シーケンス番号設定］

あらかじめシーケンス登録されているシーケンス名に対してシーケンス番号を設定します。

シーケンス番号を手動設定する

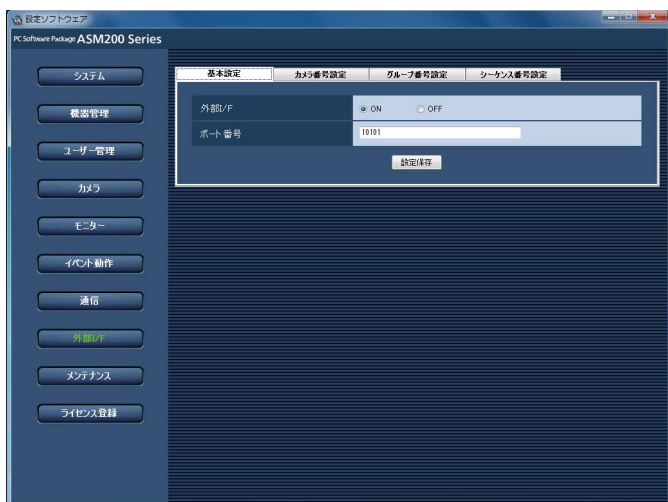
STEP1

［外部I/F］ボタンをクリックします。

STEP2

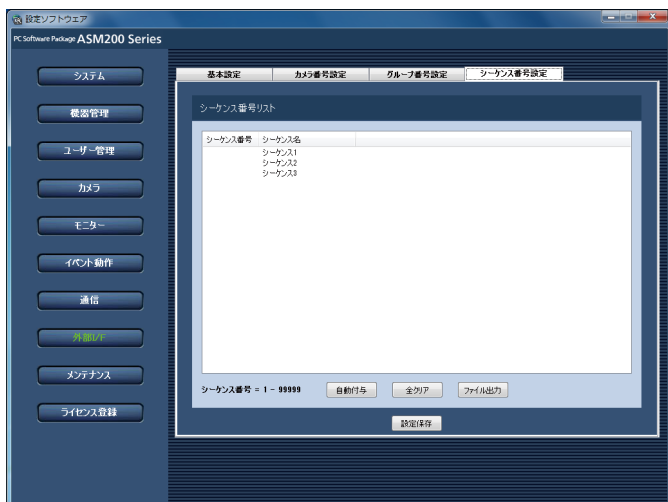
［シーケンス番号設定］タブをクリックします。
→シーケンス番号設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■［自動付与］ボタン
リスト表示されている順にシーケンス番号を1から連番で自動付与します。

■［ファイル出力］ボタン
リストに表示されている内容をCSV形式で保存します。

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

STEP3

設定したいシーケンス名のリストを選択し、シーケンス番号領域をクリックします。
→入力可能な状態になります。

STEP4

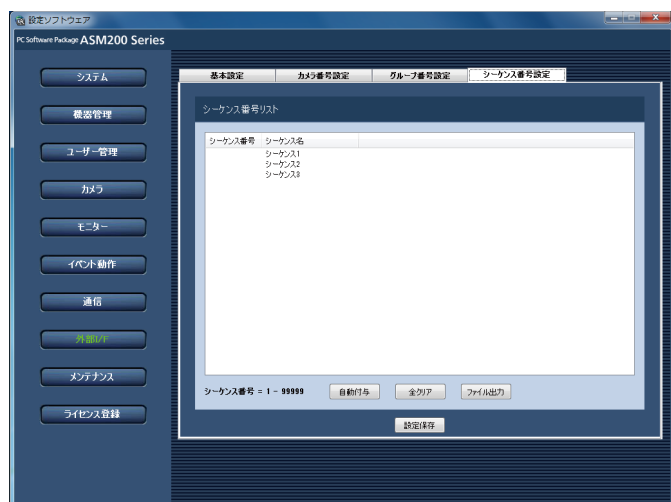
設定したいシーケンス番号を入力します。
入力可能な範囲は1～99999です。

STEP5

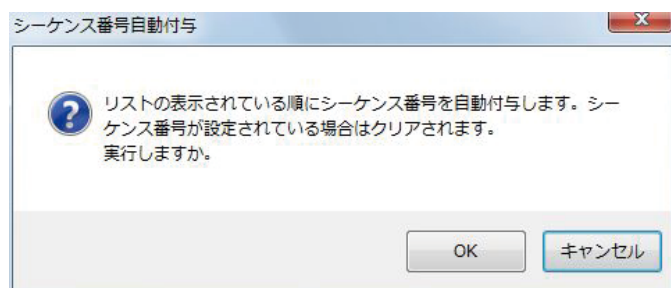
［設定保存］ボタンをクリックします。

シーケンス番号を自動設定する

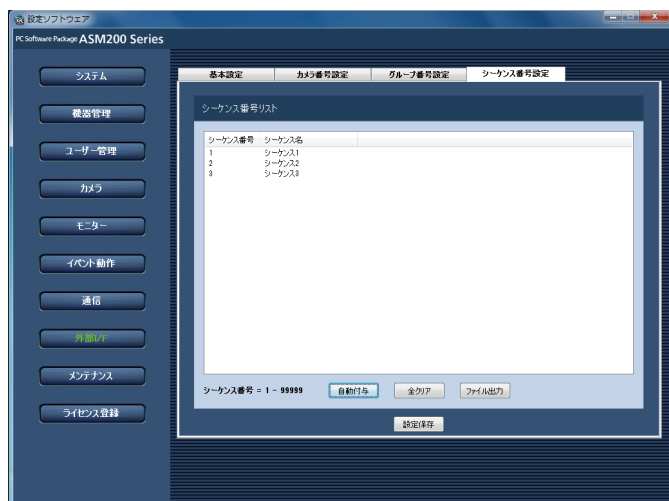
STEP1

シーケンス番号設定画面を表示します。（☞78ページ）

STEP2

［自動付与］ボタンをクリックします。

→シーケンス番号自動付与確認画面が表示されます。

STEP3

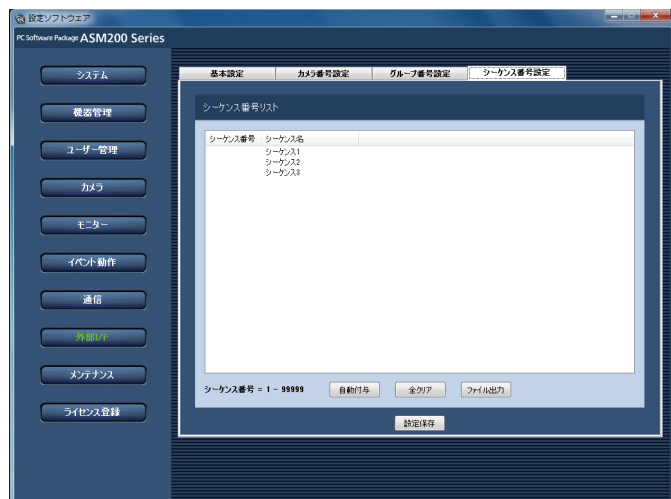
［OK］ボタンをクリックします。

→表示しているリスト順にシーケンス番号を自動的に付与します。

STEP4

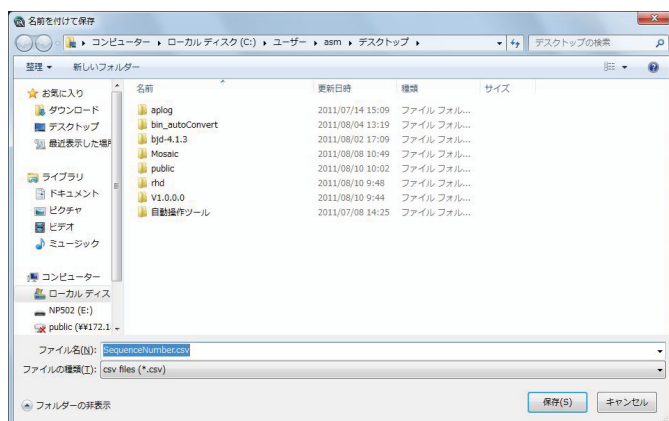
［設定保存］ボタンをクリックします。

シーケンス番号リストをファイル出力する

STEP1

シーケンス番号設定画面を表示します。（☞78ページ）

STEP2

［ファイル出力］ボタンをクリックします。

→名前を付けて保存画面が表示されます。

STEP3

保存先とファイル名を入力して、[保存(S)] ボタンをクリックします。
→シーケンス番号リストの保存が開始されます。

メモ

- [保存(S)] ボタンをクリック時にメッセージボックスが表示されることがあります。「表示メッセージと対処方法」（☞87ページ）をお読みになり、正しい操作を行ってください。

ライセンス登録に関する設定

本ソフトウェアを正規にご使用いただくためのライセンスを登録します。ライセンスの登録には、キー管理システムから取得した解除キー番号が必要です。本ソフトウェアの解除キー番号の取得方法は､付属の「起動情報案内カード」をお読みください。

重要
- ライセンスの登録を有効にするには［登録］ボタンをクリックする必要があります。また、ライセンスの登録には本ソフトウェアの再起動が発生します。
- 本ソフトウェアのライセンスを登録する際には、必ず本ソフトウェアをご使用になるPC上で行ってください。

ライセンスを登録する

本ソフトウェアを使用するための解除キー番号を登録します。

STEP1

［ライセンス登録］ボタンをクリックします。
→ライセンス登録画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■キー管理システム入力情報
解除キー番号を取得するためのID番号です。本ソフトウェアに付属の「起動情報案内カード」に、キー管理システムへのアクセス方法が記載されています。

■機器ID番号
本ソフトウェアをインストールしたPCを識別するための番号です。キー管理システムで解除キー番号を取得する際に必要となります。

■起動ID番号
キー管理システムで解除キー番号を取得する際に必要となります。番号は付属の「起動情報案内カード」に記載しています。

■暗号ID番号
キー管理システムで解除キー番号を取得する際に必要となります。番号は付属の「起動情報案内カード」に記載しています。

■ライセンス登録
入力された解除キー番号、及びすでに登録されたライセンス情報を一覧表示します。

■［追加...］ボタン
解除キー番号入力画面を表示します。

■［修正...］ボタン
ライセンス登録の一覧上で選択された解除キー番号を表示します。

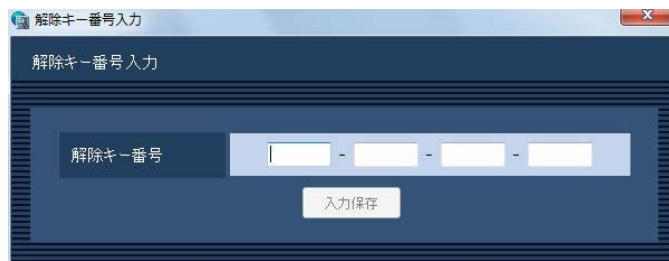
メモ
- すでに登録済みのライセンス内容を修正することはできません。

■［削除...］ボタン
ライセンス登録の一覧上で選択された解除キー番号を削除します。

メモ
- すでに登録済みのライセンス内容を削除することはできません。

ライセンス登録に関する設定（つづき）

STEP2

［追加...］ボタンをクリックします。
→解除キー番号入力画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■解除キー番号

キー管理システムで取得した解除キー番号を入力します。

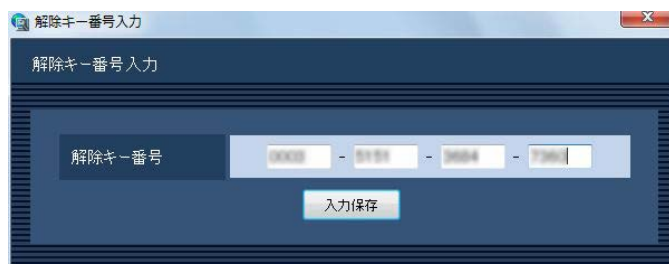
■［入力保存］ボタン

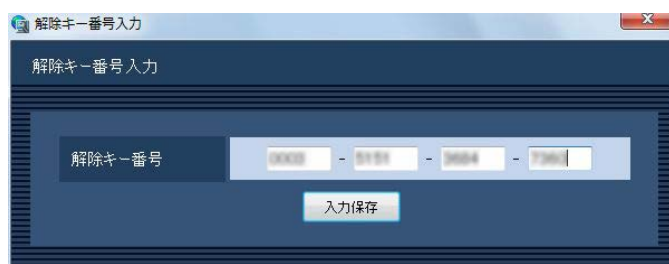
入力した解除キー番号を登録できるように一時的に保存します。

重要

- 入力保存だけでは未だライセンスの登録は完了していません。必ずライセンス登録画面上の［登録］ボタンをクリックしてください。

STEP3

解除キー番号を入力します。
キー管理システムから取得した解除キー番号を入力します。

STEP4

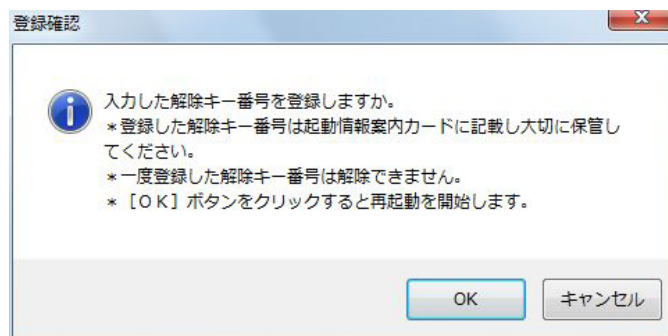
［入力保存］ボタンを入力します。

STEP5

入力された解除キー番号の情報を確認し、［登録］ボタンをクリックします。

メモ

- ［登録］ボタンをクリックせずに他の画面に切り換える、または設定ソフトウェアを終了した場合、入力した解除キー番号は消去されます。

STEP6

［OK］ボタンをクリックします。登録を中止する場合は［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

重要

- 一度登録された解除キー番号は解除することができません。登録に間違いがないか必ず確認してください。
- ［OK］ボタンをクリックすると自動的に本ソフトウェアが再起動されます。

ファイアウォールの例外設定

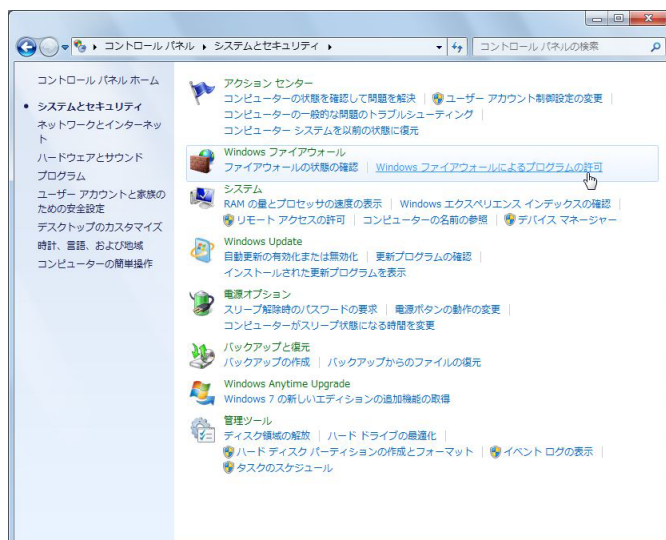
ライブ画表示、ダウンロード機能および独自アラーム通知機能（アラーム通知、イベント通知）を使用可能にするためにファイアウォールの例外設定を行います。本書ではWindows7による設定の例を示します。

STEP1

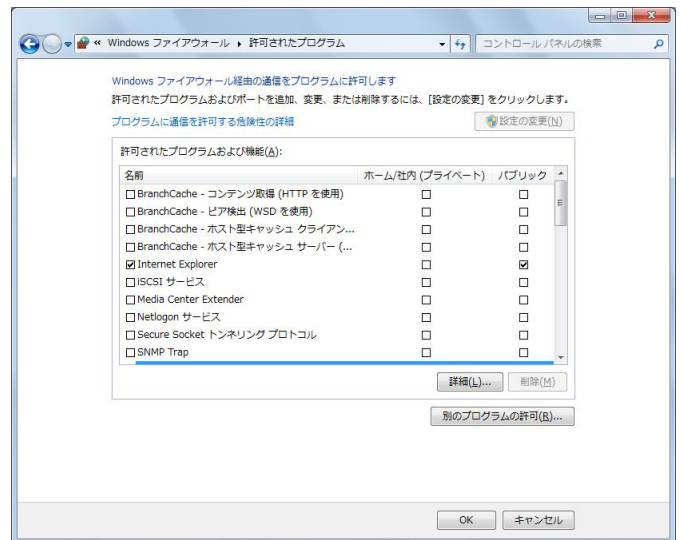
コントロールパネルの［システムとセキュリティ］をクリックします。

→システムとセキュリティ画面が表示されます。

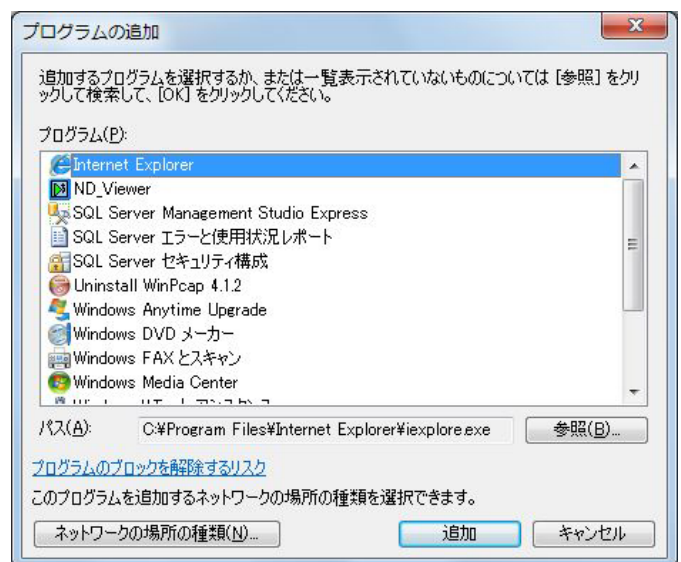
STEP2

［Windowsファイアウォール］－［Windowsファイアウォールによるプログラムの許可］をクリックします。

→許可されたプログラム画面が表示されます。

STEP3

［別のプログラムの許可(R)...］ボタンをクリックします。

→プログラムの追加画面が表示されます。

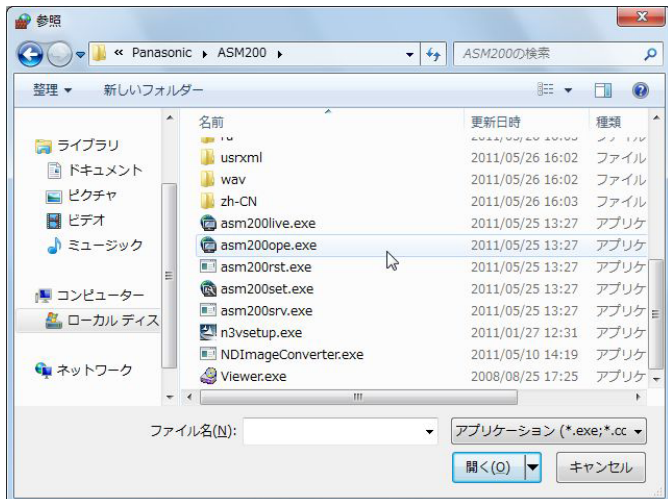
STEP4

［参照(B)...］ボタンをクリックします。

→参照画面が表示されます。

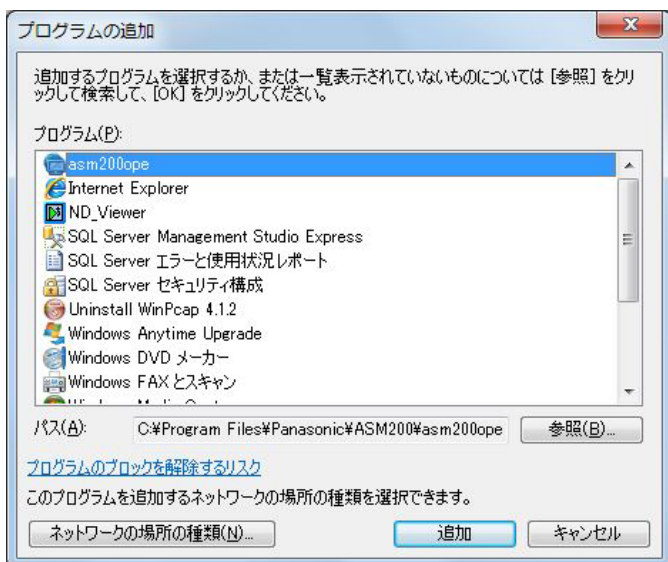
ファイアウォールの例外設定（つづき）

STEP5

「asm200ope.exe」を選択し、「開く(O)」ボタンをクリックします。

メモ

- 標準設定のままインストールすると以下の場所に保存されています。
  C:¥Program Files¥Panasonic¥ASM200

STEP6

「asm200ope.exe」を選択し、[追加］ボタンをクリックします。

STEP7

STEP3 ～ 6の手順を行い「asm200live.exe」、「asm200liveIP.exe」、「asm200srv.exe」、「sqlservr.exe」、「sqlbrowser.exe」も同様に登録します。

メモ

- 標準設定のままインストールするとそれぞれ以下の場所に保存されています。
  asm200live.exe:
  C:¥Program Files¥Panasonic¥ASM200
  asm200liveIP.exe:
  C:¥Program Files¥Panasonic¥ASM200
  asm200srv.exe:
  C:¥Program Files¥Panasonic¥ASM200
  sqlservr.exe:
  C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL.1¥MSSQL¥Binn
  sqlbrowser.exe:
  C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥90¥Shared
- 「sqlservr.exe」、「sqlbroswer.exe」は STEP6の画面でそれぞれ「SQL Sever Windows NT」、「SQL Browser Service EXE」に名称が変わります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

設定ソフトウェア使用時

現　　象	原　因　・　対　策	参照ページ
レコーダーが登録できない	●最大登録数を超えている。 不要な登録レコーダーを削除してから、登録してください。	3、26、33
エンコーダーが登録できない	●最大登録数を超えている。 不要な登録エンコーダーを削除してから、登録してください。	3、34、40
カメラが登録できない	●最大登録数を超えている。 不要な登録カメラを削除してから、登録してください。	3、41、49
グループが登録できない	●最大登録数（400件）を超えている。 不要な登録グループを削除してから、登録してください。	3、51、53
シーケンスが登録できない	●最大登録数（10件）を超えている。 不要な登録シーケンスを削除してから、登録してください。	3、54、57
チップヘルプで表示されたカメラタイトルが登録したものと異なる	●一部の半角記号については、正常に表示されない場合があります。 例）「&&」と「&」を続けて入力すると、「&」と表示される。	－

運用ソフトウェア使用時

重要

●機器本体の設定を変更した場合は、機器情報を再度取得し直してください。取得し直さない場合、機能が正常に動作しないことがあります。機器情報の取得については、「機器管理に関する設定（☞26ページ）」をお読みください。

現　　象	原　因　・　対　策	参照ページ
ライブ画像が表示されない	●カメラのMPEG-4またはH.264配信設定が「OFF」になっている。 カメラのMPEG-4またはH.264配信設定を「ON」にしてください。配信設定についてはお使いのカメラの取扱説明書をお読みください。	－
	●レコーダーがコンフィグ中またはSDメモリー録画中です。 処理が終わるとライブ画像が表示されます。	－
	●レコーダーのディスクをフォーマットする必要がある可能性があります。 ウェブブラウザからレコーダーに直接アクセスして確認してください。	－
ライブ画像が更新されない	●レコーダーとカメラ間の通信が切断もしくは、通信できなくなっている可能性があります。 接続を確認してください。	－
シーケンス中に画像が表示されない	●MPEG-4およびH.264画像のシーケンスを実行中に発生する場合があります。 カメラのリフレッシュ周期設定を1秒に設定してください。リフレッシュ周期の設定に関しては、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。	－
	●接続機器の負荷が高いと、シーケンス画像が黒画になることがあります。 シーケンスの表示間隔を長くすることで、症状が改善される場合があります。	－

現　象	原 因 ・ 対 策	参照ページ
シーケンス中に画像が表示されない	●多画面表示したとき、シーケンス画像が黒画のまま更新されないエリアが発生することがあります。 シーケンスの表示間隔を長くすることで症状が改善される場合があります。	–
	●シーケンス画像が切り換わるときに、黒画になることがあります。 シーケンス黒画対策用のSleep時間を調節することで、症状が改善されます。 ただし、設定した時間分、最後に表示していた画像が表示し続け、操作が効きません。 シーケンス黒画対策用のSleep時間は以下の手順で変更します。 （1）本ソフトウェアを終了してからテキストエディタで「constants.xml」を開きます。 標準設定のままインストールすると、「constants.xml」は以下の場所に保存されています。 C:¥Program Files¥Panasonic¥ASM200¥aplxml （2）「SequenceChangingSleepTime」を検索します。 （3）「value="0"」の「0」を変更します。 時間の単位はmsです。 例）「value="1000"」にすると、シーケンス黒画対策用のSleep時間は1秒になります。 （4）上書き保存して、ファイルを閉じます。	–
画像表示の遅延や停止が発生する（PCの動作が重くなる）	●お使いのPCのスペックが推奨動作環境を満たしていない可能性があります。 推奨動作環境をご確認ください。	6
	●パフォーマンスの設定が適切な値に設定されていない可能性があります。 設定ソフトウェアのシステム画面のパフォーマンスにて最大画像更新速度（JPEG/VGA）を適切な値に変更してください。	24
	●MPEG-4およびH.264を配信しているカメラの1クライアントあたりのビットレート設定がPCのCPU性能に適していない可能性があります。 MPEG-4およびH.264画像使用時の推奨カメラ設定をご確認ください。	8
	●接続機器の負荷が高い可能性があります。 接続機器の負荷を低減させることで、症状が改善される場合があります。	–
MPEG-4およびH.264画像を多画面表示したとき、1つの画像表示エリアに複数のカメラ画像が切り換わり表示される	●PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。 本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。	–
PCがスリープモード（システムスタンバイ状態あるいはシステム休止状態）に移行しない。あるいは、スリープモードから復帰後、ライブ画像が更新されないなどの現象が発生する。	●本ソフトウェアを使用中はスリープモードに移行しない場合があります。また、スリープモードから復帰後以下のような現象が発生する場合があります。 • ライブ画像が更新されない。 • シーケンスが切り換わらない。 本ソフトウェアを使用する場合は、スリープモードに移行しないようにPCを設定してください。	–
ボタン名がボタンからはみ出している	●画面のDPI設定が「120DPI」に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 画面のプロパティ画面で［設定］タブをクリックし、［詳細設定(V)］ボタンをクリックして、DPI設定を変更してください。	–
マルチキャストの場合、複数のカメラ画像が混在して表示される	●複数のカメラに同じマルチキャストアドレスとポート番号を設定した場合、それらのカメラを表示しようとすると、映像が混在して表示されます。 マルチキャストアドレスとポート番号が一致しないように設定してください。	–
ライブ画像の更新が不安定 機器との接続が切断される ダウンロードした画像が正しく表示されない 画像が正しく表示・録画・再生されない	●接続機器とHUBのネットワーク通信速度が一致していない可能性があります（100MBASE-Tx Fullと100MBASE-Tx Halfなど）。HUBによってはネットワーク通信速度が一致しなくなることがあります。 HUBの通信速度状態および接続機器のネットワーク通信の速度が一致するように設定してください。 （すべてのレコーダー・PCおよびHUBの通信速度を「100-FULL」に設定することを推奨します。）	–

表示メッセージと対処方法

設定ソフトウェア起動時

設定ソフトウェア起動時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原　因　・　対処方法
運用ソフトウェアが起動されているため、起動できません。	●運用ソフトウェアをすでに起動している場合、設定ソフトウェアを起動することはできません。 ［OK］ボタンをクリックして運用ソフトウェアを終了してから設定ソフトウェアを起動してください。
本ソフトウェアの動作環境が正しく認識できませんでした。PCのネットワーク環境が有効になっていることを確認し再度登録操作を行ってください。	●PCのネットワークアダプターが有効になっていることを確認してください。 無効になっている場合は有効にしてください。

ログイン画面の［OK］ボタンクリック時

［OK］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原　因　・　対処方法
認証に失敗しました。	●ユーザー名またはパスワードが間違っています。 再度、ログインしてください。それでもログインできない場合は、管理者に確認してください。管理者は、ユーザー設定を確認してください。

［設定保存］ボタンクリック時

［設定保存］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原　因　・　対処方法
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・何も入力されていない。 ・入力値が設定範囲内ではない。	●使用禁止文字の入力、未入力、または設定範囲外の内容を設定し、［設定保存］ボタンをクリックすると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。
重複している項目があるので設定できません。	●重複禁止の項目で、重複した内容を設定し、［設定保存］ボタンをクリックすると表示されます。 エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。
他の設定に影響がありますが、実行しますか。	●他の設定に影響がある項目の情報を修正、削除したときに表示されます。 ［OK］ボタンをクリックすると、変更した内容をデータベースに保存します。［キャンセル］ボタンをクリックすると、変更した内容はデータベースに保存しません。
機器情報の取得を行っていないので設定できません。	●機器登録画面で「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」、「管理者名」、「パスワード」のいずれかを変更すると表示されます。 ［取得...］ボタンをクリックし、機器情報の取得をしてください。

［削除...］ボタンクリック時

［削除...］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原　因　・　対処方法
削除しますか。	●機器管理、ユーザー設定、グループ設定、シーケンス設定、マップなどの画面で［削除...］ボタンをクリックすると表示されます。 ［OK］ボタンをクリックすると、削除した内容をデータベースに保存します。［キャンセル］ボタンをクリックすると、削除した内容はデータベースに保存しません。
他の設定に影響がありますが、実行しますか。	●他の設定に影響がある項目の情報を修正、削除したときに表示されます。 ［OK］ボタンをクリックすると、変更した内容をデータベースに保存します。［キャンセル］ボタンをクリックすると、変更した内容はデータベースに保存しません。

機器登録画面の［取得...］ボタンクリック時

［取得...］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原　因　・　対処方法
取得に失敗しました。	●機器情報の取得に失敗すると表示されます。 機器との接続状況と機器情報（アドレス、HTTPポート番号、プロキシの使用など）を確認して、再度、機器情報の取得をしてください。
取得に失敗しました。接続した機器は対応しているレコーダーではありません。	●本ソフトウェア未対応のレコーダーに、情報の取得をすると表示されます。 お使いの機器が対応しているレコーダーかどうか確認してください。
取得に失敗しました。接続したレコーダーは対応しているバージョンではありません。	●本ソフトウェア対応のレコーダーですが、未対応バージョンのレコーダーに情報の取得をすると表示されます。 お使いのレコーダーのバージョンを確認してください。
レコーダーから端子アラーム設定を取得できませんでした。管理者名及びパスワード設定を確認し、再取得を行ってください。	●レコーダーから端子アラーム設定を取得できなかった場合に表示されます。 レコーダーの管理者ユーザーのユーザー名／パスワードと本ソフトウェアの機器ごとのユーザー名／パスワードが一致しているか確認してください。
取得に失敗しました。接続した機器は対応しているエンコーダーではありません。	●本ソフトウェア未対応のエンコーダーに、情報の取得をすると表示されます。 お使いの機器が対応しているエンコーダーかどうか確認してください。
取得に失敗しました。接続したエンコーダーは対応しているバージョンではありません。	●本ソフトウェア対応のエンコーダーですが、未対応バージョンのエンコーダーに情報の取得をすると表示されます。 お使いのエンコーダーのバージョンを確認してください。
取得に失敗しました。接続した機器は対応しているカメラではありません。	●本ソフトウェア未対応のカメラに情報の取得をした場合に表示されます。 お使いの機器が対応しているカメラかどうかを確認してください。
取得に失敗しました。接続したカメラは対応しているバージョンではありません。	●本ソフトウェア対応のカメラですが、未対応バージョンのカメラに情報の取得をすると表示されます。 お使いのカメラのバージョンを確認してください。
取得に失敗しました。ユーザー認証エラーのためログインできません。	●カメラまたはエンコーダーへ接続時、ユーザー認証に失敗した場合に表示されます。 登録時の管理者名、パスワードを確認してください。

メッセージ	原　因　・　対処方法
取得した品番が変更されていたため、取得情報を破棄します。一度登録データを削除してから新規登録してください。	● 以前登録されていた機器の品番が変更されていると表示されます。 登録済みのデータを削除してから、再度登録してください。
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・何も入力されていない。 ・入力値が設定範囲内ではない。	● 使用禁止文字の入力、未入力、または設定範囲外の内容を設定し、[取得...] ボタンをクリックすると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。

カメラ設定画面のライブ取得先選択時

メッセージ	原　因　・　対処方法
カメラからの情報取得に失敗したため、ライブ取得先をカメラに設定できません。カメラとの接続を確認してください。	● 対応していない機器からは情報取得できないため、常にこのメッセージが表示され、ライブ取得先にカメラを選択することができません。 対応機器については、「対応機器一覧」（☞４ページ）をお読みください。

カメラ設定画面の［OK］ボタンクリック時

［OK］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原　因　・　対処方法
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・何も入力されていない。 ・入力値が設定範囲内ではない。	● 使用禁止文字の入力、未入力、または設定範囲外の内容を設定し、[OK] ボタンをクリックすると表示されます。 エラー項目は赤色で表示します。エラー項目を修正し、再設定してください。

レコーダーログ画面の［取得］ボタンクリック時

［取得］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原　因　・　対処方法
取得に失敗しました。 障害ログ アクセスログ イベントログ ネットワークログ	● レコーダーログ情報を取得するとき、レコーダーと通信ができない場合に表示されます。 レコーダーとの接続状態を確認して、再度、レコーダーログの取得をしてください。

名前を付けて保存画面の［保存(S)］ボタンクリック時

[保存(S)] ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原 因 ・ 対処方法
保存するファイルは既に存在します。上書きしますか。	●保存しようとしたファイルと同名のファイルがある場合に表示されます。 ［OK］ボタンをクリックすると、ファイルを上書き保存します。［キャンセル］ボタンをクリックすると、ファイルの保存はしません。
ファイルの保存に失敗しました。	●ファイル保存に失敗すると表示されます。 再度、ファイルを保存しなおしてください。

エラーが発生したとき

本ソフトウェアを使用中に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原 因 ・ 対処方法
Windowsを再起動してください。それでも、このメッセージが表示される場合は、再インストールしてください。	●本ソフトウェアを再起動してもなおらない深刻なエラーが発生すると表示されます。 Windowsを再起動してください。それでも修復されない場合、本ソフトウェアを再インストールしてください。
DBに必要な情報がありません。設定データのバックアップデータをロードしてください。バックアップデータがない場合は、再インストールまたは設定データを初期化してください。	●DBに必要な情報がない場合に表示されます。 バックアップしている設定データをインポートしてください。

外部I/F画面の番号入力確定時

外部I/F画面のグループ番号（シーケンス番号、カメラ番号）入力確定時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原 因 ・ 対処方法
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・グループ番号が重複している。 ・入力値が設定範囲内ではない。	●使用禁止文字の入力、グループ番号の重複、または設定範囲外の内容を入力し、確定すると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・シーケンス番号が重複している。 ・入力値が設定範囲内ではない。	●使用禁止文字の入力、シーケンス番号の重複、または設定範囲外の内容を入力し、確定すると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。

表示メッセージと対処方法（つづき）

メッセージ	原　因　・　対処方法
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・カメラ番号が重複している。 ・入力値が設定範囲内ではない。	● 使用禁止文字の入力、カメラ番号の重複、または設定範囲外の内容を入力し、確定すると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。

外部インターフェースコマンド一覧

コマンド名	パラメーター名	パラメーター値	概要	使用例
dispCtl.cgi	SCREEN	n:画面分割数 (1,4,6,9,16)	画面分割数を指定します。 ※指定した画面分割数分のPOSと併用します。	/cgi-bin/dispCtl?SCREEN=1&POS1=CAM1 (1画表示する。) /cgi-bin/dispCtl?SCREEN=4 &POS1=CAM1&POS2=CAM2&POS3=CAM3&POS4=CAM4 (4画表示する。) /cgi-bin/dispCtl?SCREEN=9 &POS1=CAM1&POS2=CAM2&POS3=CAM3 &POS4=CAM5&POS5=CAM6&POS6=CAM7 &POS7=CAM9&POS8=CAM10&POS9=CAM11 (9画表示する。)
	POS1,,,POSn n:表示エリア (1～16)	CAM1,,,CAMn n:登録済カメラ番号 (1～99999)	表示エリア毎のカメラ番号を指定します。 ※シーケンス中は無効です。	/cgi-bin/dispCtl?POS1=CAM3 (POS1をカメラ番号3に切り替える。)
		off	表示エリア毎の黒画表示を指定します。 ※シーケンス中は無効です。	/cgi-bin/dispCtl?POS2=off (POS2を黒画表示する。)
	GROUP	n:登録済グループ番号 (1～99999)	グループ番号を指定します。 ※他のパラメーターと併用できません。	/cgi-bin/dispCtl?GROUP=3 (グループ番号3で登録されているグループを表示する。)
	GSEQ	n:登録済シーケンス番号 (1～99999)	シーケンス番号を指定します。 ※CMDSEQ=startと併用します。	/cgi-bin/dispCtl?GSEQ=5&CMDSEQ=start (シーケンス番号5で登録されているシーケンスを開始する。)
	INTERVAL	n:シーケンス間隔（秒） (3～60)	シーケンス間隔を指定します。 ※GSEQと併用します。 ※CMDSEQ=startと併用します。	/cgi-bin/dispCtl?GSEQ=2&CMDSEQ=start&INTERVAL=5 (シーケンス番号2で登録されているシーケンスを5秒間隔で開始する。)
	CMDSEQ	start	シーケンスを開始します。 ※GSEQと併用します。	/cgi-bin/dispCtl?GSEQ=5&CMDSEQ=start (シーケンス番号5で登録されているシーケンスを開始する。)
		pause	実行中のシーケンスを一時停止します。 ※他のパラメーターと併用できません。	/cgi-bin/dispCtl?CMDSEQ=pause (実施中のシーケンスを一時停止する。)
		restart	一時停止中のシーケンスを再開します。 ※他のパラメーターと併用できません。	/cgi-bin/dispCtl?CMDSEQ=restart (一時停止中のシーケンスを再開する。)
sysCtl.cgi	CMD	shutdown	Windowsを終了します。	/cgi-bin/sysCtl?CMD=shutdown (OSを終了する。)
		restart	Windowsを再起動します。	/cgi-bin/sysCtl?CMD=restart (OSを再起動する。)
appCtl.cgi	CMD	stop	運用ソフトウェアを終了します。	/cgi-bin/appCtl?CMD=stop (アプリを終了する。)

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-410**（パナハヨイワ） 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531　福岡市博多区美野島四丁目1番62号

PGQP1116WA
N0911-3063